中西部
ヤングサッカーニュース
2011 1
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

～新たな日本代表で始動～

２０１１年、新たなスタートを切った日本代表。１月７日に開幕したアジアカップに出場し、７月には初めてコパ・アメリカ（南米選手権）に参戦する。さらに９月には、２０１４年Ｗ杯ブラジル大会に向けたアジア３次予選も始まる。その日本代表の中心選手となる長谷部誠選手がさらなる飛躍を誓った。


©J.LEAGUE PHOTOS

長谷部　誠
ヴォルフスブルク（ドイツ）　MF
１９８４年１月18日生
青島東ＳＳ→青島中学校→藤枝東高校→浦和レッドダイヤモンズ

新年あけましておめでとうございます。
２０１０年は僕自身にとって非常に大きな意味を持つ年になりました。２０１０年を語る上で外せない事はもちろん南アフリカワールドカップです。僕はゲームキャプテンという大役をやらせて頂き、非常に貴重な経験をしました。もちろんそこにはサッカーの街藤枝、そして中西部地区出身という誇りを持って務めました。そういう誇りを持ちながら出来たのも、偉大な先輩達の姿を僕も小さい頃から見てきたからです。もちろんその偉大な先輩とは、中山雅史さん、名波浩史さん、山田暢久さんなど素晴らしい方達です。そして今は僕がそのような先輩達のように後輩達に藤枝（中西部）の魂を伝えていかなければと思っています。そういった意味でもワールドカップは大きいものになったと思っています。
２０１１年はまた新たな挑戦の年として、いろいろな新しい事にチャレンジしていきたいと思っています。また応援して頂けたら嬉しいです。皆さんもお身体に気をつけて良い年になるよう願っています。

FIFA U-17女子ワールドカップ トリニダード・トバゴ2010
樫本芹菜、川島はるな両選手 日本の準優勝に貢献


©J.LEAGUE PHOTOS

樫本　芹菜　DF
１９９３年１月９日生
藤枝順心高校

川島　はるな　MF
１９９３年４月12日生
ＪＦＡアカデミー福島（藤枝ＦＣ出身）

昨年の９月５日から25日までトリニダード・トバゴで行われたＦＩＦＡ　Ｕ－17女子ワールドカップに、Ｕ－17日本女子代表として、藤枝順心高校の樫本芹菜選手（写真右）と藤枝市出身の川島はるな選手（写真左）が出場した。チームのキャプテンを務めた樫本選手はセンターバックとして３試合に出場、川島選手は中盤で全試合に先発出場。日本の準優勝に貢献した。次はさらに上のカテゴリーの日本女子代表入りを目指して頑張ってほしい。

さらなる飛躍に期待！

中西部出身Ｊリーガー

石川　竜也 モンテディオ山形	ＤＦ／1979年12月25日 西益津SS→西益津中→藤枝東高→筑波大→鹿島アントラーズ→東京ヴェルディ
岡田　隆 ジュビロ磐田	ＤＦ／1984年４月10日 西益津SS→ジュビロSS掛川→藤枝東高→筑波大
成岡　翔 アビスパ福岡	ＭＦ／1984年５月31日 六合SS→EWS･FC→藤枝東高→ジュビロ磐田
枝村　匠馬 清水エスパルス	ＭＦ／1986年11月16日 榛原川崎SS→清水エスパルスJY→清水エスパルスY
山本　真希 清水エスパルス	ＭＦ／1987年８月24日 大津SS→清水エスパルスJY→清水エスパルスY
碓井　健平 清水エスパルス	ＧＫ／1987年５月15日 柏レイソルJr→東海大一中→藤枝東高→筑波大
村松　大輔 清水エスパルス	ＤＦ／1989年12月16日 焼津南SS→藤枝東FC→藤枝東高→Honda FC→湘南ベルマーレ
中山　雅史 コンサドーレ札幌	ＦＷ／1967年９月23日 岡部SS→岡部中→藤枝東高→筑波大→ヤマハ発動機・ジュビロ磐田
岡田　佑樹 水戸ホーリーホック	ＤＦ／1983年10月４日 藤枝中央SS→EWS・FC→藤枝東高→中央防犯藤枝SC→コンサドーレ札幌→栃木SC
小澤　雄希 湘南ベルマーレ	ＤＦ／1983年10月４日 高洲南SS→ACMブルックスFC→藤枝明誠高→V.V SHO（オランダ）→水戸ホーリーホック
大井　健太郎 湘南ベルマーレ	ＤＦ／1984年５月14日 高洲南SS→ACMブルックスFC→藤枝東高→ジュビロ磐田
谷澤　達也 ＦＣ東京	ＭＦ／1984年10月３日 大井川東SS→EWS･FC→静岡学園高→柏レイソル→ジェフユナイテッド市原・千葉

※名前下のチーム名は、2011年２月１日以降の所属チーム。
<プロフィール>ポジション／生年月日、サッカー歴

Rookie 新人Ｊリーガー



山田　大記
ジュビロ磐田入団　MF
１９８８年12月27日生
ヤマハジュビロ浜松ＳＳ（U-12）→ヤマハジュビロ浜北ＳＳ（U-15）→藤枝東高校→明治大学



原田　圭輔
ベガルタ仙台入団　DF
１９８８年６月11日生
札幌ジュニア→札幌ジュニアユース→藤枝東高校→筑波大学


©T. YAMAZOE

山田　暢久
浦和レッドダイヤモンズ　DF
1975年９月10日生
稲葉SS→藤枝中学校→藤枝東高校

Ｊ1リーグ450試合 公式戦650試合 出場の偉業達成

いつもご声援いただきありがとうございます。２０１０年は、リーグ戦で10位、ナビスコカップ、天皇杯でも優勝することができず、浦和レッズのチームとしては非常に残念なシーズンでした。
個人としては、フィンケ監督から、センターバックという新しいポジションで起用されることが増え、自分のプレーの幅を広げることができ、充実したシーズンを送ることができたと思っています。その中で、Ｊ１リーグ４５０試合出場を達成できたことは、非常にうれしかったし、ナビスコカップや天皇杯、ＡＣＬなどを合わせると６５０試合の公式戦に出場できて、両親や家族をはじめ、今まで支えてくれた方々に本当に感謝しています。
２０１１年は、個人としては、サッカーを楽しみながら、チームとしては、タイトルを取れるようにがんばっていきたいと思います。これからも、応援よろしくお願いします。

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、世界中が注目したＦＩＦＡ・Ｗ杯南アフリカ大会で藤枝市出身の長谷部誠選手（ヴォルフスブルク）がゲームキャプテンとして日本代表チームをまとめ、見事に決勝トーナメント進出に貢献し、日本サッカー史上に残る快挙を達成、日本国中に勇気と感動を与えました。
ＦＩＦＡ・Ｕ－17女子Ｗ杯では、藤枝市出身の川島はるな選手（ＪＦＡアカデミー福島）と藤枝順心高校の樫本芹菜選手が日本代表チームの一員として出場し、見事に準優勝を飾りました。
Ｊリーグでは山田暢久選手（浦和レッズ）が１９９４年に入団以来、Ｊ１リーグ４５０試合、日本代表戦を含む公式戦で６５０試合出場を果たし、Ｊリーガー出場最多記録を達成し鉄人ぶりを発揮しました。
地元の小・中・高校等で生まれ育った選手が憧れのプロサッカー選手や日本代表として世界に羽ばたく姿は、私たちに夢、感動、誇り、希望を与えることであり、誠に嬉しいことです。
月刊「中西部ヤングサッカーニュース」も22年を経過し270号を編集しました。子ども達が切磋琢磨して夢の実現と目標の達成に向かって精進する様子を本年も伝達したいと思います。多くのサッカー関係の皆様方のご理解ご協力を本年も宜しくお願い申し上げます。
本紙企画構成編集責任者
滝本　義三郎

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 2

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第37回 静岡県つま恋ユースU-11選抜サッカー大会

藤枝トレセン 準優勝



各地区のトレセンチームが出場し、８人制で行われる静岡県つま恋ユースU－11選抜サッカー大会が、１月22日、23日に開催され、藤枝トレセンが準優勝した。

６チームずつで争われた予選リーグで、５戦を14得点１失点で全勝し、ブロック１位となった藤枝は１位リーグに進んだ。３チームで争った１位リーグで、まずは駿東と対戦し、前半から一進一退の攻防でメンバーが変わる後半も攻守が激しく入れ替る展開となり、ともに得点なく引き分けた。

続く浜松西との一戦は、速いドリブル突破を許すなどで守勢に回るも、粘り強い守りでまたも０対０の引き分け。最後に浜松西が駿東に勝利したため、藤枝の２位が決まった。

なお、閉会式で優秀選手８名が発表され、中西部勢では２選手が選出された。

優秀選手の中西部勢
鈴木友也（藤枝トレセン）
小澤秀充（島田トレセン）

順位リーグ試合結果（中西部勢のリーグのみ）

1位リーグ	藤枝	駿東	浜松西	勝点	順位
藤枝		△0-0	△0-0	2	2
駿東	△0-0		●1-3	1	3
浜松西	△0-0	○3-1		4	1

4位リーグ	沼津	島田	伊豆	勝点	順位
沼津		●1-3	○3-1	3	2
島田	○3-1		△2-2	4	1
伊豆	●1-3	△2-2		1	3

5位リーグ	袋井	三島	榛原	勝点	順位
袋井		○7-2	○2-0	6	1
三島	●2-7		●0-2	0	3
榛原	●0-2	○2-0		3	2

6位リーグ	焼津	掛川	富士宮	勝点	順位
焼津		△0-0	●0-2	1	3
掛川	△0-0		○2-1	4	1
富士宮	○2-0	●1-2		3	2

予選リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック
1	藤枝	駿東	浜松西
2	静岡葵	清水	静岡駿河
3	富士	浜松東	磐田
4	沼津	島田	伊豆
5	袋井	三島	榛原
6	焼津	掛川	富士宮

平成22年度 静岡県高校新人サッカー大会

中部地区大会
藤枝明誠が優勝
藤枝東、榛原の３校が県大会へ

静岡県高校新人サッカー大会の中部地区大会は１月８日から30日まで行われ、８組に分かれて争われた１次リーグから各組の上位２校が２次トーナメントに進み、12校に与えられる県大会の出場権獲得を目指した。

中西部からは榛原、藤枝東、藤枝明誠、焼津中央の４校が１次リーグを突破し、２次トーナメントに臨んだ。そして、藤枝明誠と藤枝東が決勝に勝ち進み対戦。藤枝明誠が前半32分に薗田大輔のゴールで先制すると、後半24分には高橋祐樹が決めてリードを広げた。藤枝東は終了間際にＣＫを荒木慎平が直接決めて１点を返すに止まり、２対１で勝利した藤枝明誠が中部１位となった。また、榛原が２回戦で全国高校サッカー選手権出場の静岡学園を４対３の接戦を制して破り、中部４位となった。そして、この３校が県大会出場を決めた。

県大会
藤枝明誠、藤枝東が決勝トーナメント進出

高校新人大会の県大会は各地区予選を勝ち抜いた32チームで争うこととなったAブロックで２戦２勝し、藤枝東もHブロックで３戦全勝して共に１位となり、決勝トーナメント進出を決めた。榛原は残念ながら１次リーグ突破はならなかった。

決勝トーナメントは１回戦が２月19日に藤枝市民グラウンドと草薙球技場で、準決勝が26日に藤枝総合運動公園サッカー場で、そして、決勝は27日にアウトソーシングスタジアム日本平で行われる。


榛原 VS 袋井


焼津水産 VS 川根

１次リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

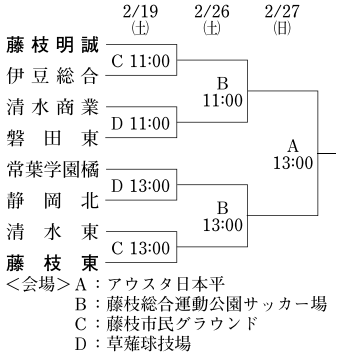
Aブロック	藤枝明誠	日大三島	浜名	浜北西	勝点	得失差	順位
藤枝明誠		○2-1	―――	○5-1	6	5	1
日大三島	●1-2		○2-1	○1-0	3	0	2
浜名	―――	●1-2		―――	－	－	－
浜北西	●1-5	●0-1	―――		0	-5	3

※浜名は途中辞退のため成績に含めない

Fブロック	榛原	富士東	袋井	静岡北	勝点	得失差	順位
榛原		●0-4	△1-1	●0-5	1	-9	4
富士東	○4-0		○1-0	●1-2	6	4	2
袋井	△1-1	●0-1		△0-0	2	-1	3
静岡北	○5-0	○2-1	△0-0		7	6	1

Hブロック	藤枝東	開誠館	富士宮北	下田	勝点	得失差	順位
藤枝東		○3-0	○13-1	○2-1	9	16	1
浜松開誠館	●0-3		○5-0	○8-0	6	10	2
富士宮北	●1-13	●0-5		●0-1	0	-18	4
下田	●1-2	●0-8	○1-0		3	-8	3

決勝トーナメント組み合わせ

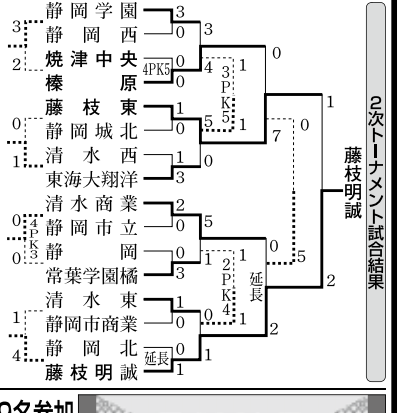


＜会場＞
A：アウスタ日本平
B：藤枝総合運動公園サッカー場
C：藤枝市民グラウンド
D：草薙球技場

１次リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位	5位
A	静岡学園	静岡市商業	島田	静岡南	城南静岡
B	榛原	静岡北	吉田	焼津水産	川根
C	藤枝東	静岡市立	藤枝北	静清	金谷
D	東海大翔洋	静岡	聖光学院	島田樟誠	清水国際
E	清水商業	静岡城北	科学技術	静岡東	清水南
F	常葉学園橘	清水西	島田商業	藤枝西	大井川
G	清水東	静岡西	島田工業	静岡大成	庵原
H	藤枝明誠	焼津中央	静岡商業	相良	――

２次トーナメント試合結果



新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
第４種少年委員会 中西部支部会長
池谷　多喜夫

～８人制サッカーの目指すもの～

現在、㈶日本サッカー協会４種ではピッチを68ｍ×50ｍの狭いコートとし、プレー人数も11人制から８人制に移行したサッカーに取り組んでいます。この８人制の良さと目的は、プレーする回数が多い、判断する回数が多く、ゴール前の攻防が多い、どのポジションでも常に攻守にかかわれることによる高い技術と的確な判断が求められることです。

また、サッカーはみんなとプレーするから楽しい、ルールがあるから面白い。味方も相手も審判もサッカーをする仲間であることをこの年代から育むことであります。外からの声でのプレッシャーをかけない、のびのびサッカーと自由な判断による挑戦と勝敗に一喜一憂するのではなく楽しみながらトライし、成功と失敗を繰り返しながら経験を積み重ねていくことや相手を思いやることも求められています。この精神は、指導者、選手だけでなく、お父さん、お母さんなど応援家族にも求めた取り組みで通して、ぜひ、この８人制の取り組みを理解していただき、未来につながるサッカー選手を育てて行きたいと思います。

審判についても１人制審判は判定の正確さを求めにくいことはありますが、どんな判定も受け入れるスポーツマンらしい姿勢とフェアープレー精神（結果、グリーンカードを出します）を習得することを目的としています。その中で４種年代でしっかりとした基本を身に着けた小学生にとって好ましい環境づくりとします。

取り組みから８年は過ぎていますが、今までのサッカーを経験した方々にはまだ、理解されません。まして、直接携わっている４種指導者にもまだサッカーは11人制でするものであるとのことで８人制サッカーを理解されていない方もいることはいます。

しかし、４種年代は、サッカーのゴールではありません。我々大人年代とは異なり柔軟な頭脳を持ってお積み重ねていくことや相手を思いやることも求められています。この精神は、指導者、選手だけでなく、お父さん、お母さんなど応援家族にも求めた取り組みで通して、ぜひ、この８人制の取り組みを理解していただき、未来につながるサッカー選手を育てて行きたいと思います。

静岡県選抜で中西部勢9名参加

平成22年度 東海地区中学生選抜サッカー大会

14歳以下のトレセン活動の一環となる東海地区中学生選抜サッカー大会が１月22日、23日に磐田市で実施された。U－14とU－13に分かれて行われ、４県の各県選抜チームと、清水エスパルス、ジュビロ磐田、名古屋グランパスのJクラブ３チームが参加して、４試合ずつを行った。

静岡県選抜には16名ずつが選出され、中西部勢ではU－14に３名、U－13に６名の計９名が選ばれた。

静岡県U-14の中西部勢		
位置	氏名	所属チーム
DF	牛尾 橘平	藤枝明誠ＳＣ
FW	小谷 春日	藤枝東ＦＣ
GK	知識 貴文	西益津中学校

静岡県U-13の中西部勢		
位置	氏名	所属チーム
MF	大石 直輝	エスパルスSS藤枝
MF	栗原 健	エスパルスSS藤枝
MF	成岡 敬章	エスパルスSS藤枝
MF	小谷 千秋	藤枝東ＦＣ
FW	滝井 淳史	エスパルスSS藤枝
GK	石上 雄大	エスパルスSS藤枝

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 3
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝東35年ぶりの優勝

平成22年度 静岡県高校新人サッカー大会

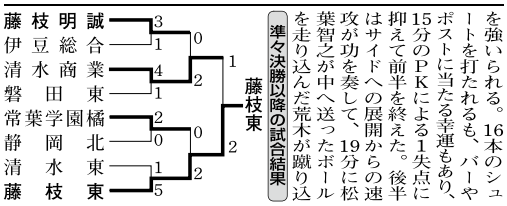


静岡県高校新人サッカー大会で藤枝東が優勝、35年ぶりの栄冠に輝いた。

２月19日に始まった決勝トーナメントで、藤枝東は初戦の清水東に前半で３得点し、後半に１点を返されるも更に２点を加えて５対１で快勝。準決勝では常葉学園橘を相手に、徐々に出足がよくなり少ないタッチでパスをつなげる。12分に田中太郎のクロスを宮永一希が頭で合わせて先制点を奪うと、後半10分には高嶋知広からのボールを荒木慎平が蹴り込み２点目をゲット。決勝に駒を進めた。

清水商業との対戦となった27日の決勝は、相手のスピードとパスワークに守勢を強いられる。16本のシュートを打たれるも、バーやポストに当たる幸運もあり、15分のＰＫによる１失点に抑えて前半を終えた。後半はサイドへの展開からの速攻が功を奏して、19分に松葉智之が中へ送ったボールを走り込んだ荒木が蹴り込むと、29分には安間文俊のクロスが田中に渡り、ＤＦをかわしてのシュートで逆転した。27分に退場者を出した数的不利をはね退け、勝負強さを発揮した。

準々決勝以降の試合結果



藤枝明誠 3位入賞

藤枝明誠は決勝トーナメント１回戦で伊豆総合と対戦し、１点のリードを許して迎えた後半に立て直して３点を奪取。18分に相手ＧＫからボールを奪った石井威が流し込んで追いつくと、25分にも梅村祐のパスから石井が決めて逆転。34分には小野晃弘のＦＫを向田晋吾がヘッドで押し込み、突き放した。

準決勝の相手は清水商業。パスに正確性を欠いて攻めあぐね、自陣での攻防が続くも、前半は互いに無得点で折り返す。だが、後半３分に失点すると、25分にも追加点を奪われる。終盤の反撃も及ばず敗れ、決勝進出を逃し３位となった。


藤枝明誠 VS 清水商業

平成22年度 静岡県高校女子サッカー新人大会



藤枝順心 8連覇!!

静岡県高校女子サッカー新人大会は決勝が２月27日にアウトソーシングスタジアム日本平で行われ、藤枝順心が静岡大成を４対１で破って優勝し、８連覇を果たした。

ボールを支配した藤枝順心は、サイドからの攻めで前半に３得点。13分に右から今井晴香のクロスを上嶋瞳が押し込むと、21分、27分には左サイドの小泉玲奈からのボールを植村祥子、榎谷岬がそれぞれ決めた。後半４分にカウンターで１点を失い、前へしっかりボールを運べず詰めを欠くが、24分に寛野未恵のＣＫを石田梨紗がダイレクトで決め駄目押し点を奪った。

〈決勝〉
藤枝順心 4―1 静岡大成

JFAガールズサッカーフェスティバル 2010静岡 第8回ドリームカップ大会

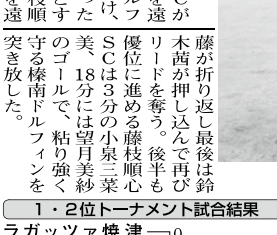
中西部勢がワンツーフィニッシュ。２月19日、20日に相良総合グラウンドで行われたＪＦＡガールズサッカーフェスティバル・ドリームカップ大会で、藤枝順心ＳＣジュニアが優勝、榛南ドルフィンキッカーズが準優勝した。

参加14チームが４組での予選リーグの後、１・２位と３・４位のトーナメント戦を実施。ラガッツァ焼津、榛南ドルフィンキッカーズ、藤枝順心ＳＣジュニア、島田プリンセスの中西部勢４チームは全て１・２位トーナメントに進んだ。そして準決勝で榛南ドルフィンは、昨年７月のフジパンカップ準決勝で敗れた相手、富士川ファーストレディースと対戦し、前半に先行を許すが、後半12分に名波舞乃のＣＫがオウンゴールを誘って同点とすると、17分には大石実可からのボールを名波が決めて逆転勝利した。藤枝順心ＳＣも昨年６月のカトレアカップ準決勝で敗れたＦＣアスルクラロ沼津を相手に、早いプレスで中盤でボールを奪って攻め上がり、後半に３得点。12分に遠藤梨子、17分に山田聖乃がドリブルからシュートを決めると、19分には片山礼美のＣＫを遠藤が押し込み突き放した。ともにリベンジを果たして決勝に進出した。

決勝では藤枝順心ＳＣが前半８分に片山のＣＫを遠藤が決め先制。榛南ドルフィンも前からプレスを掛け、ＧＫからのボールを奪った藤波史帆が決めて同点とする。だが、２分後に藤枝順心ＳＣが山本雅のＣＫを遠藤が折り返し最後は鈴木茜が押し込んで再びリードを奪う。後半も優位に進める藤枝順心ＳＣは３分の小泉三菜美、18分には望月美紗のゴールで、粘り強く守る榛南ドルフィンを突き放した。


藤枝順心ＳＣジュニア 優勝


榛南ドルフィンキッカーズ 準優勝



１・２位トーナメント試合結果

予選リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック
1	ラガッツァ焼津	榛南ドルフィンキッカーズ
2	島田プリンセス	有度ＦＣ
3	Ｆｉｎｅ静岡	清水ＦＣ女子
4	清水袖師SSSピクシーズ	――
順位	Cブロック	Dブロック
1	藤枝順心SCジュニア	FCアスルクラロ沼津
2	富士川ファーストレディース	ジュビロ磐田レディース
3	２１Ｃｅｎｔｕｒｙ	蒲原FCアミーゴレディース
4	浜松ジョリィフィーユクラブ	――

新たな挑戦

～静岡県U-15プレサッカーリーグを実施～

静岡県クラブユースサッカー連盟（U-15）
庶務
橋村　弘子

各種別で年間を通してのリーグ戦が行われているが、３種年代でも県レベルでクラブユースと中体連の垣根なく参加の機会が与えられる長期リーグ戦を実施するという日本サッカー協会の意向を受けて、静岡県Ｕ―リーグからは３部の上位までしか今回の県リーグに参戦できず、また、これまでリーグ戦を行っていない中体連チームにも参加機会を与えるために、県リーグ参加資格を得ていないチームを対象に、３部に５枠を設けて１月から３月まで参入戦を実施している。参加を希望したクラブ21チーム、中体連43チームがその５枠を争い、すでにクラブ１、中体連３の４チームが３部参入を決めている。

全県に広がる試合会場への移動や運営など、特に経験のない中体連チームにとっては大変な面も多いだろうが、有意義な大会になることを願う。なお、本大会となる24年度は参加チーム数の拡大と、下部の地域リーグの実施も考えている。

基盤として、その順位をもとに、１部10チーム、２部８チーム、３部は８チームずつの２ブロックに分けての３部制で行い、計34チームが参加する。チーム数が限られ、県クラブユースリーグからは３部の上位までしか今回の県リーグに参戦できず、また、これまでリーグ戦を行っていない中体連チームにも参加機会を与えるために、県リーグ参加資格を得ていないチームを対象に、３部に５枠を設けて１月から３月まで参入戦を実施している。参加を希望したクラブ21チーム、中体連43チームがその５枠を争い、すでにクラブ１、中体連３の４チームが３部参入を決めている。

全県に広がる試合会場への移動や運営など、特に経験のない中体連チームにとっては大変な面も多いだろうが、有意義な大会になることを願う。なお、本大会となる24年度は参加チーム数の拡大と、下部の地域リーグの実施も考えている。

＝関連記事２面に掲載

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 4

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

東日本大震災の被災者の皆様に謹んでお見舞い申しあげます
復興に向けてサッカー界でも協力し合っていこう！

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プリンスリーグ東海
1部に藤枝明誠高校、2部に藤枝東高校が参戦


藤枝明誠高校


藤枝東高校

今年度の成績により、1部1位は部1位はプレミアリーグへの参入戦の出場権を得る。また、2部1位は1部に昇格する。さらに、来年度は1部制で行われるため、1部8位と2部の2～4位に各県リーグ1位の計8チームが1部入りをかけて参入戦を行い、2もしくは3チームが1部参戦となる。（プレミアリーグとの昇降格の関係で変わる）そして、2部5～8位は各県リーグへ自動降格となる。

藤枝明誠はプレミアリーグへ、藤枝東は1部へ、それぞれ昇格を目指す。

（試合日程は2面に掲載）

1部（8チーム）
ジュビロ磐田U-18
清水商業高校
四日市中央工業高校
藤枝明誠高校
常葉学園橘高校
帝京大可児高校

2部（8チーム）
静岡学園高校
加藤学園暁秀高校
藤枝東高校
飛龍高校
愛知高校
各務原高校
津工業高校
清水東高校

高円宮杯のリーグ戦化

高円宮杯全日本ユース（U-18）サッカー選手権大会は、昨年までのような短期的な大会として行わず、今年度から全国を東西2ブロックに分けて長期リーグ戦を行うプレミアリーグが実施される。これには、昨年のプリンスリーグ9地域の上位チームが参加する。それにより、プリンスリーグや都道府県リーグとの繋がりをより分かりやすくするために、全てのリーグを「高円宮杯U-18サッカーリーグ（年号）」として統一することになった。

上位リーグ入り目指す

プリンスリーグ東海は1部、2部ともに4月16日に開幕する。1部に藤枝明誠高校、2部に藤枝東高校が参戦する。今年度は高校総体予選時期となる5月と8月を除く10月15日までの期間で、2回戦総当たり戦で争われる。

第23回 ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会
中西部クラブトレセンU-13 1位
中西部クラブトレセンU-14 2位

ジュビロ磐田Jr.ユース地区代表選手大会が3月22日から24日まで行われた。U-13とU-14の部に分かれて争われ、U-13の部には中西部クラブトレセンに中体連選手による焼津、藤枝、榛原の各地区トレセンが、U-14の部には中西部クラブトレセンが出場した。

東日本大震災の影響で出場チーム数が減り、U-13の部は変則リーグ戦で実施。参加9チームが6試合ずつを行い、中西部クラブトレセンが全勝して1位となった。U-14の部は7チームの総当たり戦で争い、中西部クラブトレセンが5勝1敗で2位となった。

（試合結果は2面に掲載）

中西部クラブトレセンU-13監督　久保山　光一

9月からクラブトレセンが始まり、月1回の試合形式ではありますが質の高いトレーニングができ、選手たちもいい経験になったのではないかと思います。その中からメンバーを決め参加したのですが、インフルエンザの影響もあり数名不参加になりました。しかし、個人個人の試合をする時間が増えたおかげで成長しました。もともと選手たちの能力も高く向上心もありますが、攻撃意欲が高くなり、細かいボールコントロールができるようになり、余裕を持ってプレーできるようになったのではないかと思います。あとは、人と人との関わり方やパスの質、連動した動きが出てくればさらにレベルの高いサッカーになります。新年度はそこをテーマにしていきたいと思います。

中西部クラブトレセンU-14監督　永田　秀士

9月から6回行ったトレセンから選考した選手18名で大会に臨みました。個人の能力が高い選手が揃っていて、個で打開できますが、チームとしての戦術はまだ足りませんでした。ヤマハジュビロ磐田戦では先制され、声が出なくなりそのまま進んでしまい敗れました。

この3日間、選手は選ばれたことの自覚を持ち、時間を守り挨拶もでき、ピッチ以外での行動もしっかりできたと思います。

中西部クラブトレセンU-13		
位置	氏名	所属チーム
GK	青島　大晟	藤枝明誠SC
MF	杉浦　卓斗	Hero FC
FW	原口　将	エスパルスSS榛原
DF	滝井　淳史	エスパルスSS藤枝
MF	*渡辺　航平	藤枝東FC
FW	栗原　健	エスパルスSS藤枝
MF	*天野　寛珠	エスパルスSS藤枝
FW	大石　直輝	エスパルスSS藤枝
MF	成岡　敬章	エスパルスSS藤枝
FW	安藤　圭悟	エスパルスSS藤枝
DF	杉本磨意斗	エスパルスSS藤枝
MF	山口　瑛	BANREYORE岡部SC
DF	山本　純也	藤枝東FC
MF	小谷　千秋	藤枝東FC
GK	*石上　雄大	藤枝東FC
MF	鈴木　啓太	藤枝東FC
DF	*村松　航太	藤枝東FC
FW	松浦　航平	EWS焼津FC

中西部クラブトレセンU-14		
位置	氏名	所属チーム
MF	森中　巧	Hero FC
FW	*栗林杏友人	エスパルスSS榛原
DF	孕石　純也	エスパルスSS藤枝
MF	木村　硯	エスパルスSS藤枝
FW	内藤　弘毅	エスパルスSS藤枝
DF	山口　大貴	エスパルスSS藤枝
MF	池田　主詩	エスパルスSS藤枝
FW	小柳津拓弥	エスパルスSS藤枝
GK	齊藤　克典	エスパルスSS藤枝
MF	大石　元気	榛南FC
MF	小谷　春日	藤枝東FC
MF	杉山遼太朗	藤枝東FC
DF	水上　悠樹	藤枝東FC
DF	堀池　亮介	藤枝東FC
MF	加藤　啓太	藤枝明誠SC
DF	牛尾　橘平	藤枝明誠SC
MF	濱　託巳	藤枝明誠SC
GK	潮　五樹	藤枝明誠SC

＊の選手は、怪我やインフルエンザのため不参加

トリムカップ2011 第3回 全国女子選抜フットサル大会
静岡県選抜　初優勝
中西部選手1名選出

知県で開催されたトリムカップ全国女子選抜フットサル大会で、静岡県選抜が初優勝した。この県選抜に中西部から横山翔子選手（牧之原市）が選出された。

全国9地域の代表と開催地高知の各都道府県選抜12チームが参加する予定だったが、東日本大震災の影響で福島県選抜と東京都選抜が出場を辞退し10チームで実施された。3組に分かれて1次ラウンドのリーグ戦を行い、各組の1位3チームと2位の最上位の計4チームが決勝ラウンドに進出。静岡県選抜は3チームの組で1勝1分けとし1位となり、準決勝に進んだ。広島県選抜と対戦した準決勝では、互いに点を取り合う展開を6対4で制した。決勝は大分県選抜に2点を先行されるも同点として前半を終えると、後半終盤に決勝点となる3点目を奪った。

1、2回大会で3位だった静岡県選抜が準決勝の壁を破り初めての栄冠に輝いた。


横山　翔子

1次ラウンド試合結果（静岡県のグループのみ）

Aグループ	静岡	京都	埼玉	勝点	順位
静岡県選抜		○2-0	△1-1	4	1
京都府選抜	●0-2		○3-2	3	2
埼玉県選抜	△1-1	●2-3		1	3

決勝ラウンド試合結果

（準決勝）
静岡県選抜　6－4　広島県選抜

（決勝）
静岡県選抜　5－1　北海道選抜
静岡県選抜　3－2　大分県選抜

新たな挑戦

中西部ヤングサッカーニュース
企画構成編集責任者
滝本　義三郎

～『心を整える』 長谷部誠選手自叙伝の出版～

3月11日、東北・関東で死者・行方不明者2万7千人を超える未曾有の巨大地震と津波災害が発生しました。被災者の苦悩を共感し、みんなで支援の輪を広げる必要性を感じました。

さて、3月18日に長谷部誠選手の自叙伝『心を整える』という本が全国で発売されました。無名だった自分がプロサッカー選手、未知の国ドイツ・ブンデスリーガでの挑戦、孤独なヴォルフスブルクでの生活、ワールドカップ南アフリカ大会出場、ゲームキャプテンとしての苦労、激闘アジアカップの優勝、日本代表キャプテンとしての振る舞い、その他数多く実体験で得たことが細かく語られています。

藤枝から世界へ羽ばたき、大きく成長した栄光の裏には「自分で考え、正しく判断し、ともに高め合う」心の姿勢が感じられます。

サッカーを通して多くの人たちに出会い育てられた「感謝の気持ち」が長谷部選手の成長に繋がっていると感じました。

何事にも不可能を可能にするチャレンジ精神「闘魂！長谷部誠選手」の真骨頂です。

本の発売が大震災と重なり、次のメールが届きました。

「今、日本が大変な時期なので、収益は全額、被災地に寄付させてもらいます。一冊でも売れて、被災者の方たちに少しでも役立てれば幸いです」という内容でした。彼は、ユニセフ（国連児童基金）・サポートメンバーに推薦され、恵まれない子供たちをサポートしています。また、代表戦が中止になるとチャリティーマッチを開催しようとサッカー界や代表選手に呼びかけるなどリーダーとしての責任感を発揮しています。

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 5

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成23年度 静岡県高校総合体育大会（男子サッカー）

焼津中央が中部1位
静清高校18年ぶりに県大会へ
中部地区大会　中西部6校が県大会出場権獲得

高校総体男子サッカーの中部地区大会は、高円宮杯に勝ち進み、18年ぶりの県大会出場を決めた。さらに藤枝北、島田、榛原、吉田も県大会の出場権を獲得した。

8組に分かれて争われた1次リーグから、各組の上位2校が2次リーグに進出。但し、同時期に試合のある県ユースリーグ1部の東海大翔洋は1次リーグを免除され、Aブロック1位として2次リーグから参戦し、Aブロックからは1チームのみが2次リーグに進んだ。そして、4組で争われた2次リーグの上位3チームずつが県切符を獲得し、各組の1位4校、2位4校がそれぞれトーナメント戦で順位を争った。中西部勢では焼津中央が1位トーナメントに進み、初戦で静岡北を、決勝で静岡市立商業を破り中部1位となった。また、静清が2位トーナメントに勝ち進み、18年ぶりの県大会出場を決めた。


榛原 VS 島田商業


島田 VS 大井川


静清 VS 静岡市立

1位トーナメント

東海大翔洋	1		
静岡市商業	2	0	1
焼津中央	3	3	3
静岡北	1		

2位トーナメント

藤枝北	2		
静岡東	3	4	1
静岡南	3	延長	3
静清	2		

順位トーナメント試合結果

2次リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	東海大翔洋	静岡市商業	焼津中央	静清
2	藤枝北	静岡東	島田	静岡市商業
3	島田	榛原	川根	島田工業
4	大井川	島田商業	金谷	聖光学院

順位	Cブロック	Dブロック
1	焼津中央	静岡北
2	静岡南	静清
3	静岡西	吉田
4	静岡城北	静岡市立

1次リーグ最終順位

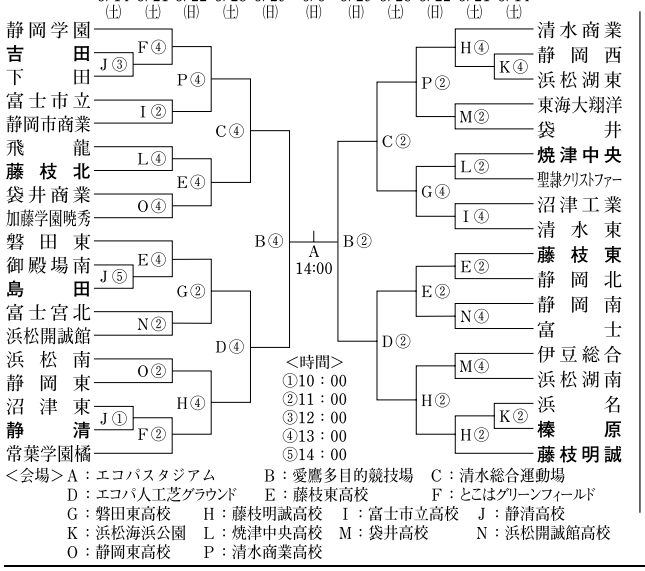
順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	静岡南	榛原	焼津中央	静清
2	科学技術	吉田	島田	静岡市商業
3	藤枝西	川根	静岡大成	島田工業
4	清水国際	庵原	金谷	聖光学院

順位	Eブロック	Fブロック	Gブロック	Hブロック
1	藤枝北	島田商業	静岡城北	静岡北
2	静岡西	静岡市立	大井川	静岡東
3	城南静岡	静岡商業	清水西	島田樟誠
4	焼津水産	静岡	相良	清水南

県大会
中西部8校が全国を目指す

静岡県高校総体は各地区大会を勝ち抜いた28校に、高円宮杯プレミアリーグとプリンスリーグ勢の9校を合わせた37校が参加して、5月14日に開幕した。中西部勢では、プリンスリーグの藤枝明誠と藤枝東に、中部地区大会を勝ち上がった焼津中央、藤枝北、静清、島田、榛原、吉田の計8校が出場し、全国切符獲得に挑む。大会はトーナメント戦で争われ、決勝は6月5日にエコパスタジアムで行われる。

静岡県高校総合体育大会（男子） 組み合わせ



<会場>
A：エコパスタジアム　B：愛鷹多目的競技場　C：清水総合運動場
D：エコパ人工芝グラウンド　E：藤枝東高校　F：とこはグリーンフィールド
G：磐田東高校　H：藤枝明誠高校　I：富士市立高校　J：静清高校
K：浜松海浜公園　L：焼津中央高校　M：袋井高校　N：浜松開誠館高校
O：静岡東高校　P：清水商業高校

第35回 全日本少年サッカー大会 中西部地区予選

青島東、高洲南 県大会へ

全日本少年サッカー大会の中西部地区予選が4月24日、29日に藤枝市で行われた。中西部内4地区の各予選を勝ち上がった12チームがトーナメント戦で、昨年より1つ減り2つとなった県大会出場枠を争った。


青島東ＳＳ



高洲南ＳＳ

4強には青島東、島田第一、吉田中央オレンジ、高洲南が勝ち進み、代表決定戦に臨んだ。そして、4得点をあげて吉田中央を下した高洲南と、1対0の接戦を制して島田第一に勝利した青島東が県切符を手にした。

県大会は6月18日、19日に藤枝総合運動公園で開催される。

青島東SS 杉崎 元基

ぼくたちはしずぎんカップにつづき、苦しみながら県大会出場を決めることができました。この全日少県大会出場は、青島東にとってうれしいことに初出場となりました。いま僕たちが練習している堅守速攻でみんなで一丸となって戦い、全国大会出場を目指したいと思います。この青島東での最後の1年の良いスタートを切りたいです。

高洲南SS 八木 祐大

僕たちは初めて県大会に出場することができました。しんきんカップ、しずぎんカップと県大会に出場することができず悔しい思いをしましたが、今回の全日少で県大会に出場できることがすごくうれしいです。県大会に出場できるのは、お父さん、お母さん、指導者のおかげだと思いますので、皆さんに感謝しながら、一戦一戦大切に一生懸命プレーして優勝目指してがんばります。

試合結果

新たな挑戦
～選手の未来に触れている！～

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部技術委員長
福與　吉晴

3月9日、中西部支部コーチングアカデミーが実施され、3種4種の指導者が100名以上参加した。テーマとしてあげられたことは「静岡県コーチングスクールの分析」「3種4種年代の国内大会の様子」「プランニングの基本」であった。2時間の講習会では映像も交え3種と4種の課題を実感していただいた。さらに、後半では短い時間ではあったが参加者によるワークショップを実施し、トレーニングメニューのプランニングを実践することができた。

昨年度の技術委員会の指導者養成事業ではD級で70名近くの有資格指導者が生まれ、C級では15名ほどの指導者が長期にわたる研修に参加し資格を取得した。有資格者にはJFAからテクニカルニュースが隔月で送られ、日本の指導者の研修の実態や世界とのギャップ、トレーニングのポイントなどが整理されて送られてきている。こうした情報がアナウンスされることは大変喜ばしいことであり、日本のサッカーのレベルアップにも大きく寄与していると感じている。しかし、マニュアル好きの日本人はまずはトレーニングメニューの模倣からスタートすると思う。JFAの指導方針も今回の講習会も、日々変化する選手がトレーニングを続けていることを大切にして行かなくてはならない。「上達の特効薬」は存在しない。選手を変えられるのは指導者である。さらに、それを支える家族があり、チームがあり、地域の環境がある。

この地域の指導者が、選手が学ぶことを大切にし、現場の選手の実情をふまえたグッドオーガナイザーとしてトレーニングからゲームまで一貫した指導の下で育成と強化を継続して行かなくてはならない。今回のプランニング講習でもコーチとしての「分析」の力をフォーカスした。わたしたち指導者は「選手の未来に触れている」ということを大切にし、日々のトレーニングで選手の実態をきちんと分析し、課題を克服するトレーニング・ゲームを行わなくてはならない。本年度も指導者の皆さんには、「マッチ・トレーニング・マッチのサイクル」のもと根気強く指導していただきたい。

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 6
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成23年度 一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 総会

平成23年度の一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部総会が、５月21日にザ グランディア藤枝で開かれた。初めに富澤静雄会長が挨拶し「昨年は優勝が６団体と、選手はもとより指導者の努力によるもの。今年度も大きな目標を持って、育成と強化に力を注ぎ、サッカーを通して地域の発展に貢献してほしい」と述べられた。

続いて議事では、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算などの説明が行われ、満場一致で承認された。

最後に、昨年度に好成績を収めたチームや選手などの表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られた。





平成22年度　一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部　功労表彰者（敬称略）

(1) 特別表彰

樫本　芹菜（U-17女子日本代表）　　中村ゆしか（U-19女子日本代表）

(2) 功労者

山下　雅也（前中西部支部役員）　　杉山　良夫（前中西部支部役員）

(3) 優秀指導者

齊藤　俊秀（shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ）　　萩原　一哉（ＦＣ．ＣＨＥＳＳ）
鈴木　功男（島田第一サッカースポーツ少年団）

(4) 優秀団体

藤枝市役所サッカー部
　第40回全国自治体職員サッカー選手権大会　優勝
shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ
　第45回東海社会人サッカーリーグ１部　優勝
ＦＣ．ＣＨＥＳＳ
　第17回全国クラブチームサッカー選手権大会 静岡県大会　優勝
藤枝東高校サッカー部
　平成22年度静岡県高校新人サッカー大会　優勝
藤枝順心高校サッカー部
　第14回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会　準優勝
島田第一サッカースポーツ少年団
　バーモントカップ第20回全日本少年フットサル大会 静岡県大会　優勝
藤枝順心ＳＣジュニア
　第８回ドリームカップサッカー大会　優勝
大和撫子/ＶＩＯＲＡ藤枝
　東海フットサルリーグ２部　優勝
焼津トレセン
　第７回ＮＨグループカップ東海ユースU-12・８人制サッカー大会　優勝

(5) 優秀選手

横山　翔子
　トリムカップ2011第３回全国女子選抜フットサル大会　優勝

一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 平成23年度重点目標

１．全国大会の開催・運営

★第10回全国シニア大会（50歳以上）　藤枝総合運動公園サッカー場他　６月25日～27日
★全日本女子サッカー選手権大会　藤枝総合運動公園サッカー場他　12月10日・11日

２．普及強化

平成22年度は、藤枝順心高校・藤枝市役所の全国大会での活躍、新人戦におきましては、藤枝東高校・藤枝順心高校が県大会優勝という明るい話題がありました。今年度も多くのチームが、この中西部地区から全国大会に出場できるようにサポートしていきます。さらには、中西部支部では今年度もアカデミー活動を充実させ将来の日本を代表する選手の育成と強化を図ります。

また、サッカー王国静岡の一員として、地域住民のサッカーへの関心を高め生涯スポーツとしてのサッカーの普及に取り組みます。

３．指導者のレベルアップ

サッカーの技術を向上させるだけでなく、日常生活においてもルールとマナーを守る選手を育てられる指導者づくりを目指します。

４．審判員の養成と技術の向上

サッカーのレベルアップのためには審判員の技術向上が不可欠です。選手とともに試合を作り上げ、地域のサッカーの向上のためにより良い審判員の養成をしていきます。

平成23年度 静岡県高校総合体育大会

男子サッカー

藤枝東 準優勝

静岡県高校総体男子サッカーは、５月14日から６月５日まで行われ、藤枝東が準優勝し、４年ぶりに東海総体の出場権を獲得した。

準々決勝は藤枝東と藤枝明誠の藤枝ダービーとなった。試合は終盤に動き、後半29分に藤枝東が松葉智之のドリブルシュートで先制。１分後には藤枝明誠も高橋祐樹のクロスを森川龍乃介が決めて追いつく。だが、残り僅かとなった34分にＣＫからこぼれ球を太田充彦が押し込み、藤枝東が決勝点を奪った。

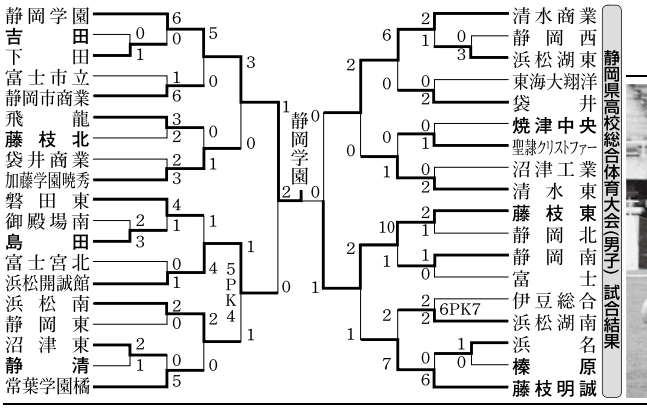
準決勝で清水商業と対戦した藤枝東は、サイドからの攻めで徐々にペースを掴む。前半20分に右サイドの津原文弥のクロスを高嶋知広がダイレクトシュート。この１点を、一気に攻め上がる相手の攻撃に守備で粘りをみせて守り切り、４年ぶりの決勝に駒を進めた。

静岡学園との決勝は、前半に決定機を作り出すも、10分の田中太郎のヘディングシュートはバーに弾かれるなどで得点を奪えないまま折り返す。すると後半25分にＣＫを頭で合わされ先行を許すと、終了間際にも失点し、全国行きを逃した。

（東海大会の組み合わせは２面）


藤枝東 VS 静岡学園

静岡県高校総合体育大会(男子)試合結果



静岡学園　吉田　下田　富士市立　静岡市商業　飛龍　藤枝北　袋井商業　加藤学園暁秀　磐田東　御殿場南　島田　富士宮北　浜松開誠館　浜松南　静岡東　沼津　静清　常葉学園橘
清水商業　西東洋　静岡湖西　浜松大翔洋　東海大袋井　焼津中央　聖隷クリストファー　沼津工業　清水東　藤枝東　藤枝北　静岡南　静岡総合　富士宮北　伊豆総合　浜松南名原　浜松榛原　藤枝明誠

新たな挑戦

静清高等学校サッカー部
部長
岩田　要司

～ 一意奮闘 ～

長年の夢であった人工芝グランドが、藤枝市高田の地に完成しました。本校も本年、創立70周年を迎えることができ、その記念事業の一つとして竣工いたしました。昨年は校名の変更、普通科の新設、野球部のセンバツ出場と学校においても、変革・飛躍の時を迎え、PTA・地域から心温まる支援をいただきました。

そんな矢先の人工芝グランドの完成と共に、この度の高校総体中部大会で念願の県大会出場を果たし、指導者、選手一同、この上ない喜びを体感しております。平成５年度以来、実に18年ぶりの出場です。この間、我サッカー部も県大会出場はチームの悲願でありましたが、今一歩で涙を飲んできました。今年は「県大会出場」という強い思いが、選手一同から伝わるものがあり、選手が一丸となったと思います。またもう一つは、やはり人工芝効果だと思います。すばらしい環境を与えられ、選手は発奮する材料が揃ったことも考えられます。「環境」が選手を変え、闘争心を奮い立たせた結果だと思います。

近年の高校サッカーの現状は、クラブチーム優勢の感はありますが、本校も決して「勝つこと」「県大会出場」することが最終目標でなく、サッカーを通しての人間育成も目標の一つであります。もちろん、優秀な選手を育て、誰からも愛されるチームを目指し、中西部地区を代表するチームになれることに努めていきたいと思います。

藤枝順心 準優勝

女子サッカー

静岡県高校総体の女子は決勝トーナメントが５月22日、29日、６月５日に行われ、上位３校に与えられる全日本高校女子サッカー選手権大会東海地区予選の出場権をかけて争った。１回戦で藤枝順心は、吉田との中西部同士の対戦を制し、準決勝でも磐田北に快勝して、決勝に進むと同時に東海予選の出場権を獲得した。４年連続で同一カードとなった常葉学園橘との決勝は、引いて守る相手にボールは支配するものの崩しきれず、前半21分にＦＫでの素早いリスタートに一瞬の隙を突かれ失点。追いつきたい藤枝順心だが、積極性を欠いてゴール前での詰めが甘く、逆にロスタイムにカウンターから２点目を奪われ万事休す。準優勝となった。


藤枝順心 VS 常葉学園橘

4月から公式戦は勿論、強豪の日テレ・メニーナやＪＦＡアカデミー福島との練習試合にも負けていなかったという藤枝順心。多々良和之監督は全国大会に向けての通過点として捉え、この敗戦を「いい糧にしてほしい」と語った。

（東海予選の組み合わせは２面）

決勝トーナメント試合結果

藤枝順心（上位1位）　藤吉田（下位4位）　磐田北（下位1位）　静岡大成（上位4位）　常葉学園橘（上位3位）　桐陽（下位2位）　東海大翔洋（下位3位）　磐田東（上位2位）
17-0, 9-0, 2-1, 4-0, 3-3（常葉学園橘 2）, 0-1

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 7
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第10回 全国シニア（50歳以上）サッカー大会

静岡県選抜50 優勝



藤枝で開催

中西部支部の今年度の重点目標の一つ「全国大会の開催・運営」に含まれる、全国シニア（50歳以上）サッカー大会が６月25日から27日まで藤枝市で開催された。中西部内のシニアチームの関係者が運営に携わり、無事３日間の大会を終えた。

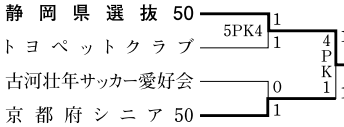
中西部勢18名が参加

開催地代表で出場した静岡県選抜50が優勝を飾った。静岡県選抜50は、藤枝ＦＣの選手を中心に焼津飛魚ＳＣや藤枝東ＦＣなどの選手を加え、21名中18名が中西部の選手で構成された。

４チームずつで争われた１次ラウンドのリーグ戦で、静岡県選抜50は２勝１分けの勝点７でグループ１位となり、決勝トーナメントに進んだ。トヨペットクラブ（東京都）との準決勝は後半に試合が動き、２分にＰＫを得た静岡は安間和仁が決めて先制した。だが19分に右クロスのクリアがＤＦにあたりオウンゴールで追いつかれる。そしてＰＫ戦となり、相手１人目をＧＫ青島信裕が止め、静岡も３人目が外して迎えた相手６人目のキックがポストを叩き決着した。

決勝は昨年準優勝の京都府シニア50と対戦し、前半13分にクロスボールをヘッドで決められ先制を許す。だが、18分に前島祥彦のシュートをＧＫが弾き、そこへ詰めた安間が押し込み同点とした。後半は静岡のペースで進むも得点を奪えず、またもＰＫ戦に突入。そして、ＧＫ青島が２人を止める活躍を見せ４対１で勝利した。

決勝トーナメント試合結果



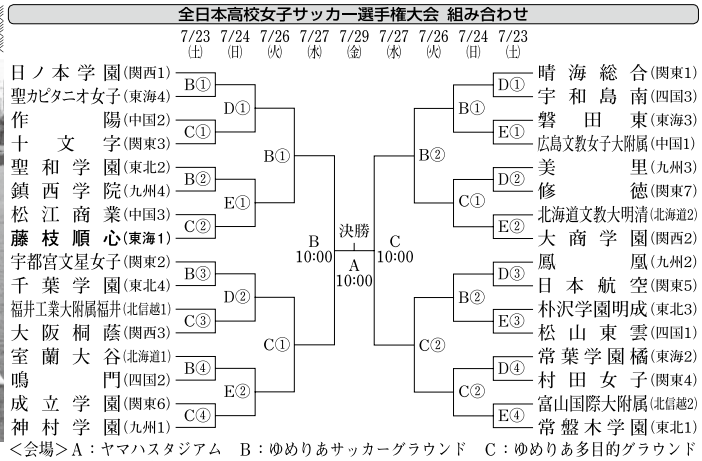
１次ラウンド試合結果（静岡県選抜のグループのみ）

Aグループ	安曇野	徳島	静岡	福岡	勝点	順位
アルフット安曇野シニア		○3-0	△0-0	●1-2	4	3
徳島シニア	●0-3		●1-3	●0-1	0	4
静岡県選抜50	△0-0	○3-1		○1-0	7	1
福岡・三宅・T・Dシニア	○2-1	○1-0	●0-1		6	2

第20回 全日本高校女子サッカー選手権大会



全日本高校女子サッカー選手権大会 組み合わせ



<会場>A：ヤマハスタジアム　B：ゆめりあサッカーグラウンド　C：ゆめりあ多目的グラウンド
D：磐田市営陸上競技場　E：竜洋スポーツ公園
<時間>7/23=①9:00　②11:15　③13:30　④15:45　7/24・26=①9:30　②12:30

目指せ全国制覇!!

藤枝順心高校 8年連続で全国大会出場

藤枝順心が出場する全日本高校女子サッカー選手権大会は、７月23日から29日まで磐田市で開催される。32校がトーナメント戦で争い、高校女子の日本一を目指す。

８年連続出場の藤枝順心は、勝ち進めば２回戦で優勝経験のある聖和学園と、準々決勝では前回優勝の日ノ本学園との対戦が予想され、強豪校が続く。５年ぶりの全国制覇を目指して全力で頑張ってほしい。

第16回 全日本女子ユース（U-15）サッカー選手権大会



藤枝順心ＳＣジュニアユースブルー 初出場

全日本女子ユース（ＵＩ－15）サッカー選手権大会に、東海予選で２位になった藤枝順心ＳＣジュニアユースブルーが初出場する。８月８日～12日に大阪府堺市のＪ－ＧＲＥＥＮ堺で開催されるこの大会には、全国９地域の代表16チームが参加。

３日間で４組に分かれて１次ラウンドのリーグ戦を行い、各組の１位４チームが11日の準決勝に進む。

暑い中での連戦となるが、藤枝順心ＳＣＪＹブルーには「全員が最後まで走り切り、パスをつないでゴールにつなげるチームスタイル」（渡辺亜紀監督）を存分に発揮して、優勝を目指して頑張ってほしい。

※組み合わせは７／19に決定

北海道	７／18に決定	東海１	常葉学園橘中学校
東北１	ＦＣみやぎ	**東海２**	**藤枝順心SCジュニアユースブルー**
東北２	ＦｕｎＬａｄｙ'ｓＦＣ	関西１	セレッソ大阪レディースU-15
関東１	浦和レッズジュニアユースレディース	関西２	宝塚エルバイレ レディースFC
関東２	スフィーダ世田谷ＦＣ	中　国	青崎SC HANAKO Ciover's
関東３	ジェフレディースＵ－16	四　国	鳴門ポラリスレディースＦＣ
関東４	ＹＳＣＣコスモス	九州１	ＭＥＬＳＡ熊本ＦＣソヒーア
北信越	アルビレックス新潟レディースU-18	九州２	大分トリニータレディース

出場チーム

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

～ 良いプレーのための準備（全日本少年サッカー大会県大会より）～

６月18・19日、第35回全日本少年サッカー大会県大会が行われました。中西部支部からは高洲南・青島東の２チームが出場し、共に１回戦は勝利しましたが、２回戦敗退という結果に終わりました。今年度から８人制になり、より個の秀でた能力を持つ選手を擁するチームが上位に進出していたと感じました。

今までも４種年代の課題として、浮玉の処理・両足を使うことを挙げてきましたが、今大会でもこの２点は今後のテーマであると感じました。

更に今回もう１点挙げておきたい事は、「観る」「観ておく」技術が低いということです。特に相手の位置をしていかなければならないと思っています。

観る事ができないため、コントロールした瞬間・タｰンした瞬間にボールを奪われる、（スペースや味方を観る事が出来ていても）良いタイミングでパスを出す事ができないといった場面が多く見られました。

プレッシャーの少ない状況では高い技術を出せる選手が多い事は皆さんも感じていると思います。「観る」「観ておく」事が出来る事によりストレスが減少し、高い技術を発揮できる事を選手に理解させトレーニングしていく事が重要だと思います。子供たちがもっともっと楽しんでプレーできるよう、ゲームにおいて高い技術を充分発揮できるよう、「観る」「観ておく」事を習得・習慣化できる工夫をしていかなければならないと思っています。

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 8
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第64回 静岡県中学校総合体育大会 サッカー競技

藤枝中学校 第3位　スルガカップ出場権獲得

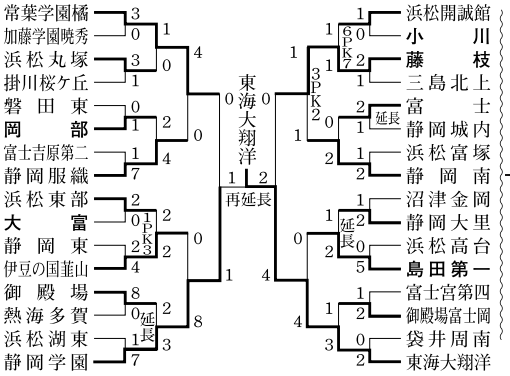


静岡県中学校総合体育大会サッカー競技は、7月27日から31日まで藤枝総合運動公園を主会場に行われ、藤枝が準決勝に勝ち進み、東海大翔洋に0対4で敗れるも、3位入賞を果たした。

藤枝は初戦から全て相手に先制を許しながらも、終盤に粘りを見せて、逆転や追いついてPK戦に持ち込み勝ち上がっていった。1回戦の三島北上には後半ロスタイムに決勝点を挙げ、2回戦では5月の静岡県U－15チャンピオンシップ中体連の部で優勝した浜松開誠館に、後半15分まで失点を許さず、26分にはDFと競りながらも抜け出した山本舜が同点ゴールを決めた。そして、PK戦では相手7人目が外したのに対し、藤枝は7人がきっちり決めて勝利をもぎ取った。準々決勝でも静岡南に開始3分に先行を許すが、セカンドボールを奪えるようになった後半は優位に進め、26分に河村優太のクロスを大井隼人が頭で合わせて同点弾。PK戦は3対2で迎えた相手5人目を、延長後半終了間際にPK戦に備えて交代出場したGK杉本翼が止めて、6年ぶりのベスト4入りとなった。

これにより、上位4校に与えられるスルガカップ静岡県ユース（U－15）サッカー選手権大会の出場権を獲得した（スルガカップの組み合わせは3面に掲載）

静岡県中学校総合体育大会　試合結果



2011フジパンCUPユースU-12サッカー大会（少女の部）静岡県大会

藤枝順心SCジュニア 初優勝
東海大会出場権を獲得



フジパンCUPユースU－12サッカー大会の少女の部の静岡県大会は、7月9日、10日に富士川河川敷葱いの広場で行われ、藤枝順心SCジュニアが初優勝した。同時に10月16日に愛知県で開催される東海大会の出場権を獲得した。

決勝トーナメントに進んだ藤枝順心SCは、準決勝で清水FC女子と対戦し、ともに得点のないままPK戦に突入。藤枝順心SCは2人目、相手は5人目が決めたので、互いにGKが止めたり外したりして、サドンデスに入った7人目に藤枝順心SCが決めて決着し、勝利をもぎ取った。

決勝の相手は清水袖師SSS女子ピクシーズ。前半16分にドリブルで持ち上がった望月美怜が先制点を挙げると、後半にも望月美怜が11分と14分にゴールしハットトリックを決めた。この3得点で藤枝順心SCが快勝した。

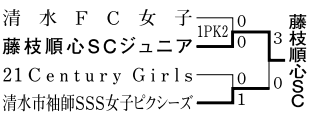
なお、大会優秀選手6名が発表され、藤枝順心SCの青島礼美と望月美怜が選出された。

予選リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック
1	清水FC女子	藤枝順心SCジュニア
2	富士川ファーストレディース	島田プリンセス
3	Fine静岡	ラガッツァ焼津

順位	Cブロック	Dブロック
1	21Century Girls	清水袖師SSS女子ピクシーズ
2	高部東SSS女子	浜松ジョリィフィーユクラブ
3	蒲原FCアミーゴレディース	榛南ドルフィンキッカーズ

決勝トーナメント試合結果



静岡ゴールデンサッカーアカデミー2011 GSAジュニアユース（U－14）サッカーフェスティバル

中西部支部選抜が出場

静岡ゴールデンサッカーアカデミーは、2009年に開始した静岡県トレセン選抜に県内5支部の各選抜チームが参加し、さらに当初は中国と韓国からチームを招く予定だったが、3月の東日本大震災の影響で来静が困難となり、大阪在日韓国チームとJFAアカデミー福島が参加することとなった。

中西部支部選抜にはクラブチーム所属選手17名が選出され参加する。

ブロック分け

	Aブロック	Bブロック
1	静岡県トレセン選抜	JFAアカデミー福島
2	大阪在日韓国チーム	中部支部選抜
3	中東部支部選抜	中西部支部選抜
4	西部支部選抜	東部支部選抜

予選リーグ・順位決定戦 組み合わせ

8/25(木)			8/26(金)		
時間	人工芝	多目的	時間	スタジアム	補助
9:30	A県TC−大阪	B福島−中部	9:00	A県TC−中東	B福島−中部
10:30	A中東−西部	B中西−東部	10:00	A大阪−西部	B中西−東部
13:30	A県TC−西部	B福島−東部	13:00	3・4位決定戦	7・8位決定戦
14:30	A大阪−中東	B中部−中西	14:30	1・2位決定戦	5・6位決定戦

＜会場＞
人工芝：エコパ人工芝グラウンド　多目的：エコパ多目的運動広場
スタジアム：エコパスタジアム　補　助：エコパ補助競技場

GSAアルゼンチン実地研修U－12

中西部4選手が参加

今年で3年目となる静岡ゴールデンサッカーアカデミー。過去2年はアルゼンチンからコーチを招き、小学生の指導や指導者の研修を行った。今回、小学生のU－12では、静岡県トレセンから選考された選手と指導者がアルゼンチンに研修として遠征した。選手の選抜メンバーに中西部から4選手が選出され、研修に参加した。


小澤 秀充（初倉FC）


鈴木 友也（高洲南SS）


鈴木 魁人（青島東SS）


安井 佑太（島田第一SS）

新たな挑戦

静岡県トレセンU-12
アルゼンチン実地研修
派遣団団長
山本　輝雄

静岡ゴールデンサッカーアカデミー2011 ～ 静岡県トレセンU－12アルゼンチン実地研修に参加して ～

2009年、2010年の2年間、計4か月程度をアルゼンチンサッカー協会推薦によるミゲル・アンヘル・ミコー氏の情熱あふれる指導で県内の4種選手・指導者が技術・育成指導法・異文化論等を学んだ。3年目の2011年は、総括としてアルゼンチン現地で実地研修をすることになった。静岡県のサッカートレセン選手から選考会を経て、U－12選手16名と研修指導者8名、役員8名の総勢32名で12日間のアルゼンチン研修を行った。

7月16日に出発し、ブエノスアイレスに約30時間で到着したが、アルゼンチンは真冬で、選手の体調管理に神経を注いだ。翌日から制・1人審判で行われ、静岡の選手にとっては厳しい試合であったと思うが、いずれの試合も静岡らしいポゼッションサッカーを楽しみだが、試合の合間にU－13・14の大会も観戦したが、同行した櫻井浩之県サッカー協会技術委員長いわく「この年代になると球きわの激しさ、速さは静岡とはっきり差がある」と感想していた。今後はU－12年代から15年代までの3～4年間がサッカー選手育成に最も大切な期間であり、指導者育成に力を入れる必要性を感じた。

中西部支部から参加した安井佑太・小澤秀充（島田市）・鈴木友也・鈴木魁人（藤枝市）の選手4名は、いずれも大活躍し、特に安井佑太選手は4試合目の最優秀選手賞をミコー氏から与えられた。また研修指導者として参加した九門尚俊（藤枝市）指導者は、この研修で得た知識を今後中西部支部内で多くの指導者に伝え、活躍されることを期待している。

アルゼンチンでは、静岡の選手は胸を張っていいだろう。4試合の結果は3勝1敗。

試合は60分ゲーム（30分ハーフ）フルコート・11人制・1人審判で行われ、静岡の選手にとっては厳しい試合であったと思うが、いずれの試合も静岡らしいポゼッションサッカーを楽しみだが、試合の合間にU－13・14の大会も観戦したが、同行した櫻井浩之県サッカー協会技術委員長いわく「この年代になると球きわの激しさ、速さは静岡とはっきり差がある」と感想していた。今後はU－12年代から15年代までの3～4年間がサッカー選手育成に最も大切な期間であり、指導者育成に力を入れる必要性を感じた。

中西部支部から参加した安井佑太・小澤秀充（島田市）・鈴木友也・鈴木魁人（藤枝市）の選手4名は、いずれも大活躍し、特に安井佑太選手は4試合目の最優秀選手賞をミコー氏から与えられた。また研修指導者として参加した九門尚俊（藤枝市）指導者は、この研修で得た知識を今後中西部支部内で多くの指導者に伝え、活躍されることを期待している。

第20回全日本高校女子サッカー選手権大会

藤枝順心 3年ぶりにベスト8入り

全日本高校女子サッカー選手権大会は7月23日から29日まで磐田市で開催され、藤枝順心が3年ぶりに8強入りした。1・2回戦を共に大量得点で快勝した藤枝順心は、準々決勝で日本が準優勝した昨年のFIFA・U－17女子W杯で得点ランキング2位になった横山久美を擁する十文字と対戦。ボール支配では上回るも前線へ詰め切れず、その横山に前半13分に先制ゴールを許す。23分には右からの鋭い

馬史奈のシュートがポストに当たった跳ね返りを逆サイドから田中ひとみが中に入れ、最後は平野里菜が押し込み一旦は追いつく。だが後半25分に勝ち越されると、26分にはまたも横山にボールを奪われ失点し、準決勝進出を逃した。

試合結果

〈1回戦〉
藤枝順心 6－0 松江商業

〈2回戦〉
藤枝順心 7－0 聖和学園

〈3回戦〉
十文字 3－1 藤枝順心

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 9
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

国民体育大会 第32回東海ブロック大会 サッカー競技
静岡県選抜 成年男子 少年男子 が本大会出場

国民体育大会の東海ブロック大会は８月13日、14日に三重県鈴鹿市で行われた。今回、東海からの本大会出場枠は成年男子と女子が１県、少年男子が２県で、静岡県は成年男子と少年男子の部で本大会の出場権を獲得した。

成年男子

東海社会人リーグ勢で構成された16名全員が中西部関連の選手となった今回の静岡県選抜。初戦で岐阜県選抜と対戦し、前半19分に橋本巧の突破でＰＫを得ると、平憲人が決めて先制点を奪った。後半は攻勢に出た相手に押し込まれるも、これをしのいで勝利した。

愛知県選抜との代表決定戦は、前半18分に松浦寿彰の速いクロスに合わせた皆川翔太が頭で押し込み先行。攻守が激しく入れ替わるなかで相手に決定機を作られる場面もあったが逃げ切り、２年連続の本大会出場を決めた。

静岡県 １―０ 岐阜県〈１回戦〉
静岡県 １―０ 愛知県〈代表決定戦〉
―試合結果―



成年男子　静岡県選抜			
No.	位置	氏　名	登録チーム
1	GK	長谷川　敦	藤枝市役所
2	DF	鈴木　大揮	藤枝市役所
3	DF	大森　敬之	矢崎バレンテＦＣ
4	DF	前川　考司	矢崎バレンテＦＣ
5	DF	久保野崇士	藤枝市役所
6	MF	海野　創	藤枝市役所
7	MF	皆川　翔太	shizuoka.藤枝MYFC
8	MF	松浦　寿彰	藤枝市役所
9	MF	池田　末廣	矢崎バレンテＦＣ
10	MF	河井雄一郎	矢崎バレンテＦＣ
11	FW	萩田　祐介	矢崎バレンテＦＣ
12	MF	木戸　吾郎	矢崎バレンテＦＣ
13	MF	平　憲人	藤枝市役所
14	MF	橋本　巧	shizuoka.藤枝MYFC
15	FW	杉山　和弘	藤枝市役所
16	GK	大塚　智紀	芙蓉クラブ（藤枝中教諭）

少年男子

６月12日から行われた東海Ｕ―16リーグを国体予選として、４県の総当たり２回戦で争われた。静岡県選抜は前半戦３試合を２勝１敗で、愛知県に続く２位で折り返した。８月12日から14日までの国体予選会場で実施された後半戦は、岐阜県に２対１で競り勝つも、三重県には常に先行を許し３対４で敗れた。最終戦で前期に大敗している愛知県に敗れれば本大会出場を逃す可能性もあったなかで、愛知県に後半14分に挙げた１点で勝利して、２位となり本大会出場を決めた。

中西部の選手ではキャプテンを務める佐藤飛天（清水エスパルスユース）がボランチで、全試合で得点を決めた北川滉平（ジュビロ磐田Ｕ―18）が右サイドハーフで、田口史也（藤枝東高校）がトップや左サイドハーフで出場し、静岡県の本大会出場に貢献した。


田口　史也　北川　滉平　佐藤　飛天

少年男子　静岡県選抜の中西部勢			
位置	氏　名	登録チーム	学年
MF	佐藤　飛天	清水エスパルスユース（焼津東ＳＳ出身）	２年
MF	北川　滉平	ジュビロ磐田Ｕ―18（初倉ＦＣ出身）	１年
MF	田口　史也	藤枝東高校	１年

試合結果	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	勝点	得失差	順位
愛知県		○5-0 ●0-1	○7-2 ●1-2	○6-1 ○5-0	12	18	1
静岡県	●0-5 ○1-0		○3-2 ○2-1	○4-2 ●3-4	12	-1	2
岐阜県	●2-7 ○2-1	●2-3 ●1-2		○1-0 △0-0	7	-5	3
三重県	●1-6 ●0-5	●2-4 ○4-3	●0-1 △0-0		4	-12	4

女子

中西部関連選手７名（寺田玲子、西山芽衣、金札杏、平野麻美（以上、静産大磐田ボニータ・藤枝順心高校出身）、山田真帆、平野里菜、前原りんご（以上、藤枝順心高校））が選出された静岡県選抜は、初戦で愛知県選抜と対戦し、前半22分に先制を許すも、後半18分に平野里菜のゴールで同点とする。試合は延長戦に入り優位に進め、後半２分に再び平野里菜が決め、これが決勝点となった。

代表決定戦の相手は、なでしこリーグの伊賀ＦＣくノ一のサブメンバーとユースの選手で構成する三重県選抜。互いに決定機を作れないまま後半に入り、24分にＦＫから大きくクリアできずに混戦になったところを押し込まれ失点。この１点で敗れ本大会出場を逃した。

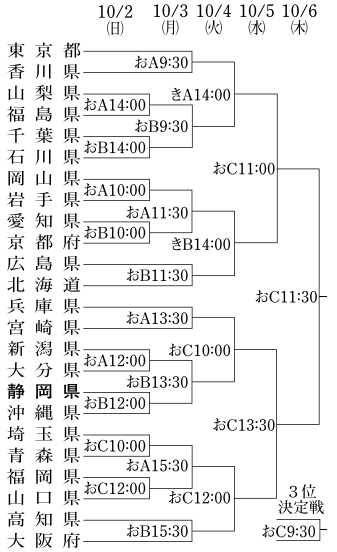
静岡県 ２―１ 愛知県〈１回戦〉
三重県 １―０ 静岡県〈代表決定戦〉
延長
―試合結果―


静岡県選抜　VS　愛知県選抜

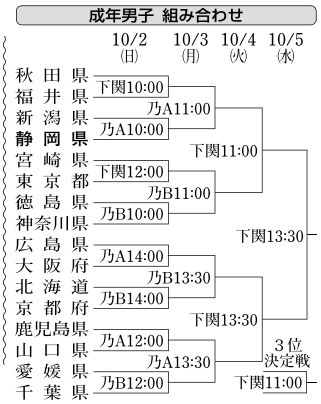
第67回 国民体育大会（おいでませ山口国体） サッカー競技
静岡県選抜 目指せ 優勝！

山口国体サッカー競技は10月２日から６日まで行われる。静岡県は、予選を勝ち上がった成年男子と少年男子の部に出場。それぞれ優勝を目指して頑張ってほしい。

少年男子 組み合わせ



成年男子 組み合わせ



<会場>
おA：おのだサッカー交流公園多目的スポーツ広場Ａ（人工芝）
おB：おのだサッカー交流公園多目的スポーツ広場Ｂ（人工芝）
おC：おのだサッカー交流公園サッカー場　きA：山口きらら博記念公園サッカー・ラグビー場
きB：山口きらら博記念公園スポーツ広場　下関：下関市営下関陸上競技場
乃A：乃木浜総合公園多目的グラウンドＡ　乃B：乃木浜総合公園多目的グラウンドＢ

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部３種技術委員長
下田　友規

大きな分岐点に立つ公立中学校サッカー部
～ 中体連 志太榛原・県大会を振り返る ～

毎年、夏の中学校総合体育大会の県大会は「サッカーの街」藤枝がメイン会場として開催されている。残念ながらここ10年以上は私立中学校の躍進ばかりが目立っていた。地元の指導者は公立中学校の意地を見せたいと思いながらも辛酸を嘗めてきた。平成17年以来、再び藤枝中が見事ベスト４に進出したことは我々に勇気と希望を与えてくれた。準決勝では翔洋中に敗れたが、開誠館中を撃破するなどインパクトある戦いぶりであった。しかし、志太榛原大会を総括していくと、２つの大きな課題が浮き上がってくる。

①自分たちのボールを大切にしていない

藤枝中は、丁寧にボールを保持しながら、アイディアを生かして相手ゴールに迫っていたし、やるべきことが明確であった。しかし、個々に力のある選手を配するチームがロングボールを多用していたのには落胆した。これでは、フィジカル、スピードで勝る地区大会では優位に立てても、県レベルではブロックを作られて全く歯が立たない。

②グループでの守備が確立されていない

中体連とは３年間で最後の大会である。予選リーグだけでなく、決勝トーナメントにおいても大量失点のチームが多々見られたことには唖然とした。１対１の原則やチャレンジ＆カバーができないのに、この重要な大会に臨んではならないと思う。勝敗はあるが、お互いに拮抗したゲームを繰り返すことがこの地区のレベルアップにつながる。このような甘い守備が習慣化しているチームに、効果的な攻撃などできるはずがないであろう。

残念ながら２つの課題はここ数年でほとんど改善していない。今後の指導者講習会やミーティングを繰り返すことで私たち指導者がきちんと意識を変え、子供達の前に立たなくてはいけないと考える。

2011 SBSカップ 国際ユースサッカー
静岡ユース 4年ぶりの優勝

８月18日、20日、21日に藤枝総合運動公園サッカー場などで開催されたＳＢＳカップ国際ユースサッカーで、静岡ユースが４年ぶりの優勝を果たした。その静岡ユースには、ＭＦ高嶋知広、荒木慎平（共に藤枝東高校３年）、ＤＦ山﨑省吾（共に藤枝明誠高校３年）の４選手が出場し、優勝に貢献した。

初戦でＵ―18オーストラリア代表と対戦した静岡ユースは、前半に先制すると後半も２点を追加。相手の反撃を１点に抑えて勝利した。２戦目のＵ―18メキシコ代表には荒木のゴールなどでリードするも追いつかれ、ＰＫ戦で惜敗した。Ｕ―18日本代表との最終戦は、後半に試合が動き、先制を許すがＰＫを得て同点とすると、ロスタイムに決勝点を決めて逆転勝利を収め、５回目の優勝カップを手にした。


森川龍之介
藤枝明誠高校３年


山﨑　省吾
藤枝明誠高校３年


荒木　慎平
藤枝東高校３年


高嶋　知広
藤枝東高校３年

中西部勢４選手出場

試合結果	オーストラリア	メキシコ	日本	静岡	勝点	順位
U-18オーストラリア代表		●0-1	●0-1	●1-3	0	4
U-18メキシコ代表	○1-0		●1-4	△3-3 3PK2	5	3
U－18日本代表	○1-0	○4-1		●1-2	6	2
静岡ユース	○3-1	▲3-3 2PK3	○2-1		7	1

※勝点：勝ち＝３、ＰＫ勝ち＝２、ＰＫ負け＝１、負け＝０

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 10
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第66回 国民体育大会（おいでませ山口国体）サッカー競技

少年男子 U−16静岡県選抜 7年ぶりの優勝

山口国体のサッカー競技は10月２日から６日まで行われ、少年男子の静岡県選抜が７年ぶりの優勝を飾った。

初戦で沖縄県に、前半序盤の２得点と後半も早々の追加点で３点を奪って勝利した静岡県は、２回戦では大分県に押し込まれるも、後半４分に奪った１点を守り切り競り勝った。宮崎県との準々決勝は、田口史也（藤枝東高校１年）のゴールなどで４得点して快勝した。

準決勝に進んだ静岡県は大阪府と対戦し、開始３分に北川滉平（ジュビロ磐田U−18１年・初倉FC出身）が右足で、５分には佐藤飛天（清水エスパルスユース２年・焼津東SS出身）が頭で決めて、２点のリードで折り返す。後半も２分に北川が左サイドをドリブルで突破してアシストし３点目をゲット。相手の反撃を１点に抑えて決勝進出を決めた。

千葉県との決勝は、劣勢を強いられる場面も多かったが、硬い守りで失点を許さず、延長を戦っても０対０で引き分け、両県優勝となった。少年男子がU−16年代に変わってからは初の優勝を勝ち取った。


少年男子　静岡県 VS 宮崎県　写真提供：報知新聞

少年男子 試合結果

〈１回戦〉
静岡県 ３−０ 沖縄県

〈２回戦〉
静岡県 １−０ 大分県

〈準々決勝〉
静岡県 ４−０ 宮崎県

〈準決勝〉
静岡県 ３−１ 大阪府

〈決勝〉
静岡県 ０−０ 千葉県
延長

成年男子 試合結果

〈１回戦〉
新潟県 ４−０ 静岡県

TPO CUP 第17回全日本ユース（U−15）フットサル大会静岡県大会



Hero FC Jrユース A 初優勝

Hero FC JrユースAが、TPO CUP全日本ユース（U−15）フットサル静岡県大会で初優勝した。

10月１日に藤枝フットサルスタジアムで行われ、Hero FCは２戦２勝して１次ラウンドを突破。準決勝に進み、静岡城内フットボールクラブと対戦した。相手のシュートがポストに当たるなどで失点を免れると、前半10分に間接FKから増田脩が決めて先制する。後半は速攻から得点を重ねて、町優津樹と増田脩が２ゴールずつを決めるなどで６点を挙げ、失点を１に抑えて圧勝した。

決勝の相手は浜松開誠館フットボールクラブ１st。前半は守備を固めて相手にスペースを与えず、それでも11分に森中巧のシュートで先行すると、相手に疲れの出る後半に勝負をかけた。そして、益田十太、森中巧、増田脩が決めて３点を加え、４対０で快勝。静岡１位代表として昨年に続く東海大会出場を決めた。

東海大会は11月19日に三重県鈴鹿市で行われる。

予選リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Aブロック	ロプタ静岡	函南中	初倉中	勝点	順位
ロプタ静岡		●0−2	○5−2	3	2
函南中学校	○2−0		○3−1	6	1
初倉中学校	●2−5	●1−3		0	3

Bブロック	開誠館	小川中	清水FC	勝点	順位
浜松開誠館フットボールクラブ1st		○3−0	○4−1	6	1
焼津市立小川中学校サッカー部	●0−3		○4−3	3	2
清水FCジュニアユース白	●1−4	●3−4		0	3

Cブロック	Hero	田原	エスパ静岡	勝点	順位
Hero FC JrユースA		○6−1	○4−1	6	1
田原FC	●1−6		●0−2	0	3
エスパルスSS静岡	●1−4	○2−0		3	2

決勝トーナメント試合結果

函南中学校 2
浜松開誠館フットボールクラブ1st 3
Hero FC JrユースA 0
静岡城内フットボールクラブ 7
Hero FC 4
1

日本スポーツマスターズ2011石川大会 サッカー競技

藤枝フットボールクラブ 準優勝



日本スポーツマスターズ石川大会が９月17日から20日まで石川県小松市で開催され、藤枝フットボールクラブが準優勝した。

１次ラウンドを２勝１分のグループ１位で通過し、決勝ラウンドに進出した藤枝FCは、準決勝で山梨マスターズと対戦。前半に奪った２得点で勝利して決勝ラウンドへ進んだ。決勝の相手は同じ東海代表の愛知県選抜マスターズ。後半の１失点で惜敗して、頂点に一歩及ばなかった。

１次ラウンド試合結果（中西部勢のグループのみ）

Cグループ	室蘭	熊本	藤枝	出雲	勝点	順位
室蘭シニアサッカークラブ		●1−2	△1−1	○3−2	4	3
熊本県選抜	○2−1		●0−3	○2−0	6	2
藤枝フットボールクラブ	△1−1	○3−0		○1−0	7	1
マスターズ出雲	●2−3	●0−2	●0−1		0	4

決勝ラウンド試合結果

宮城県選抜 0
愛知県選抜マスターズ 2
藤枝フットボールクラブ 1
山梨マスターズ 0

スルガカップ2011静岡県ユース（U−15）サッカー選手権大会

第23回高円宮杯 全日本ユース（U−15）サッカー選手権大会静岡県予選

エスパルスSS藤枝 第３位



静岡県ユース（U−15）サッカー選手権大会は、９月19日、23日に２次ラウンドが行われ、エスパルスSS藤枝東FCが対戦した。互いに素速くパスをつないで好機を作る。それを確実に１回戦でエスパルス藤枝と藤枝が昨年に続き３位入賞した。

２次ラウンドの準決勝は、前半12分にFKを直接決められ先制を許す。エスパルス藤枝は縦へ速くボールを送るもゴールを奪うまではいかず、１点に涙をのんだ。

得点に結びつけたエスパルス藤枝が、前半に孕石純也、永野直弥、成岡敬幸、山口京太の得点で４点をリード。ロスタイムに藤枝東FCも深沢侑のゴールで１点を返す。後半はエスパルス藤枝が山口大貴と永野、藤枝東FCは杉山遼太朗、小谷春日がそれぞれ決めて２点ずつを奪い合い、前半のリードを保ったエスパルス藤枝が、中西部対決を制して準決勝に駒を進めた。

ヤマハジュビロ浜松との準決勝は、前半12分にFKを直接決められ先制を許す。エスパルス藤枝は縦へ速くボールを送るもゴールを奪うまではいかず、１点に涙をのんだ。

１次ラウンド最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	FCアスルクラロ沼津	ヤマハジュビロ磐田	藤枝明誠SC	藤枝東FC
2	エスパルスSS藤枝	ヤマハジュビロ浜松	ヤマハジュビロ掛川	清水FC
3	榛南FC	エスパルスSS富士	常葉学園橘中学校	東海大翔洋中学校
4	藤枝中学校	静岡学園中学校	SALFUS oRs	エスパルスSS静岡

２次ラウンド試合結果

FCアスルクラロ沼津 0
ヤマハジュビロ掛川 2
ヤマハジュビロ磐田 0
清水FC 2
藤枝明誠SC 1
ヤマハジュビロ浜松 2
藤枝東FC 3
エスパルスSS藤枝 6
延長
5PK4
1
1
1
1

新たな挑戦

静岡県トレセンU−12アルゼンチン実地研修
派遣団指導者研修
青島東サッカースポーツ少年団　指導者
九門　尚俊

～ 日本とアルゼンチンの違い ～

研修での４試合は日本で導入されている８人制サッカーとは違い、11人制のフルコートに審判１人、30分ハーフで５号球を使用し行われました。内容については、日本人の真面目さやチームワーク、個々のテクニックによる突破は十分通用しましたが、一対一の守備、球際の厳しさや浮き球の処理にはまだまだ課題があると感じられました。

ジュニアユース、ユースの試合も観戦しましたが、静岡の選手との差をジュニア以上に感じ、そこに至るまでの育成が重要だと感じました。

球際の厳しさは体格の違いからきているのではないか？　アルゼンチンでは一日４度食事を摂ります。更にU−９からフィジカルコーチによるトレーニングが週１回行われており、体格の違いに差が出てくるのではないでしょうか。

今回試合の中でボールを蹴れるチームが多かったことも印象的でした。それはU−９年代から重たいボールでのトレーニングが取り入れられているからかもしれません。

サッカーのための施設（教育）が充実し、戦力にならなければ即ふるい落とされる、プロになるための厳しいカリキュラムの中で戦っている彼らにとっては１年１年が勝負なんだと感じました。

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 11

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第35回 全国地域サッカーリーグ決勝大会

shizuoka. 藤枝MYFC JFL昇格を目指す



東海社会人サッカーリーグで優勝したshizuoka.藤枝MYFCが、日本フットボールリーグ（JFL）昇格を目指して、全国地域サッカーリーグ決勝大会に出場する。全国９地域の各社会人リーグで上位になった10チームと、Jリーグ準加盟申請が承認された１チームに、全国社会人サッカー選手権大会の優勝チームを合わせた12チームが参加して、１次ラウンドは11月21日から23日まで福井県などで行われ、４組に分かれてリーグ戦で争われる。そして、各組の１位と２位の最上位３チームと２位の最上位チームの計４チームが、12月２日～４日に大阪長居第２陸上競技場で実施される決勝ラウンドに進む。リーグ戦で行われる決勝ラウンドから、１位と２位の２チームがJFLへ自動昇格し、３位がJFL下位チームとの入替戦に臨む。

昨年に続く２度目の挑戦となる藤枝MYFCには、JFL昇格を目指して頑張ってほしい。

第46回 東海社会人サッカーリーグ１部

shizuoka. 藤枝MYFC ２連覇

10月９日に全日程を終了した東海社会人リーグ１部で、shizuoka.藤枝MYFCが２連覇を果たした。

無敗で首位を独走した藤枝MYFCは、９月４日に藤枝市役所との中西部対決を制し、３試合を残して優勝を決めた。それと同時に、日本サッカーリーグ昇格を争う全国地域リーグ決勝大会の出場権を獲得した。

東海社会人リーグ１部 最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	shizuoka.藤枝MYFC	12	2	0	38	33
2	ＦＣ鈴鹿ランポーレ	7	2	4	23	1
3	Ｆ　Ｃ　刈　谷	6	3	5	21	4
4	藤　枝　市　役　所	6	2	6	20	-9
5	岐阜ＦＣ ＳＥＣＯＮＤ	5	4	5	19	2
6	矢崎バレンテＦＣ	3	4	7	13	-13
7	マルヤス工業	3	2	9	11	-4
8	トヨタ周球団	2	5	7	11	-14

第47回 全国社会人サッカー選手権大会 ぎふ清流国体サッカー競技 リハーサル大会

shizuoka.藤枝MYFC 第3位

全国社会人サッカー選手権大会でshizuoka.藤枝MYFCが粘りの試合を続けて３位となった。

10月15日から19日まで岐阜県で行われたこの大会。藤枝MYFCは接戦をものにして勝ち上がった。初戦のアイン食品には一旦は逆転を許すが、終盤に追いつき延長戦で突き放した。２戦目のDezzolla Shimane E.Cにも逆転で勝利。NPO横浜スポーツ&カルチャークラブとの準々決勝では、前半の１得点を後半の相手の猛攻に耐えて守り切った。

準決勝に進み、優勝した東京23フットボールクラブとの対戦では、ミスからカウンターを許すなどして攻められず、前半25分のCKからの失点で敗れた。だが、３位決定戦で愛媛ＦＣしまなみを相手に積極的な動きだしをみせ、前半30分に橋本巧のゴールで先制。後半２分にも土佐剛が決めてリードを広げる。７分に１点を返されるが、その後も攻勢を続けて逃げ切った。

試合結果

〈１回戦〉
shizuoka.藤枝MYFC　４―２　アイン食品
延長

〈２回戦〉
shizuoka.藤枝MYFC　２―１　Dezzolla Shimane E.C

〈準々決勝〉
shizuoka.藤枝MYFC　１―０　NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ

〈準決勝〉
東京23フットボールクラブ　１―０　shizuoka.藤枝MYFC

〈３位決定戦〉
愛媛ＦＣしまなみ　２―１　shizuoka.藤枝MYFC

ブロック分け

Aグループ	ＪＡＰＡＮサッカーカレッジ（北信越）
	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ（関　東）
	バンディオンセ加古川（関西２）
	shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ（東　海）
Bグループ	クラブフィールズノルブリッツ北海道（北海道）
	奈良クラブ（関　西）
	福島ユナイテッドＦＣ（東　北）
	ＳＣ相模原（優遇措置）
Cグループ	Dezzolla Shimane E.C（中　国）
	ＨＯＹＯ ＡＣ ＥＬＡＮ大分（九　州）
	黒潮フットボールクラブ（四　国）
	東京２３フットボールクラブ（社会人大会）

第33回 全日本女子サッカー選手権大会

藤枝順心高校 ５回目の全国大会出場



藤枝順心高校が出場する全日本女子サッカー選手権大会が、12月３日に開幕する。全国９地域の代表23チームに、日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）の９チームを合わせた32チームがトーナメント戦で争い、決勝は２０１２年の元日に国立競技場で、男子の天皇杯に先立って行われる。

藤枝順心は４日の１回戦で夏の高校女子選手権で敗れた十文字中学高校と対戦。雪辱して２回戦に進めば、OGも所属する早稲田大学、さらに勝ち上がれば、なでしこリーグ優勝のＩＮＡＣ神戸レオネッサと対戦できる。全日本女子ユース（Ｕ―18）選手権に向けて良いステップにしてほしい。

2回戦を藤枝で開催

12月10日、11日に藤枝総合運動公園サッカー場で２回戦の４試合が実施される。藤枝順心高校と順心OG選手も多く在籍する静岡産業大学磐田ボニータが１回戦を勝ち上がれば、２回戦を藤枝で行う。是非、観戦を。入場無料。

１次ラウンド 藤枝ＭＹＦＣの試合日程

期日	時間	対戦相手
11/18(金)	13:30	バンディオンセ加古川
11/19(土)	13:30	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ
11/20(日)	10:45	ＪＡＰＡＮサッカーカレッジ

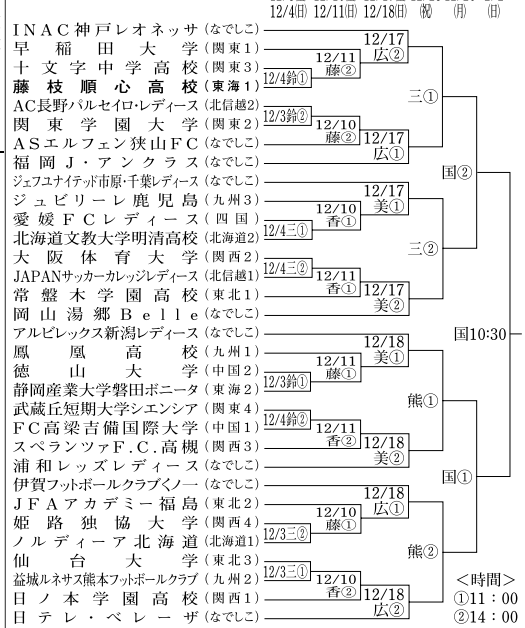
＜会場＞テクノポート福井

決勝ラウンド試合日程

期日	時間	対戦
12/2(金)	10:45	Ａ１位－Ｂ１位
	13:30	Ｃ１位－２位-１
12/3(土)	10:45	Ａ１位－Ｃ１位
	13:30	Ｂ１位－２位-１
12/4(日)	10:45	Ａ１位－２位-１
	13:30	Ｂ１位－Ｃ１位

＜会場＞　大阪長居第２陸上競技場

第33回全日本女子サッカー選手権大会 組み合わせ



＜時間＞
①11：00
②14：00

＜会場＞
鈴：三重県営鈴鹿スポーツガーデン・メイングラウンド
三：三木総合防災公園陸上競技場
香：香川県営サッカー・ラグビー場
広：コカ・コーラウエスト広島スタジアム
国：国立競技場
藤：藤枝総合運動公園サッカー場
美：岡山県美作ラグビー・サッカー場
熊：熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

第34回東海女子サッカー選手権大会

第33回 全日本女子サッカー選手権大会 東海予選

藤枝順心高校 ３連覇

全日本女子サッカー選手権東海大会は10月22日、23日に豊田市総合公園で行われ、藤枝順心高校が３年連続の優勝で、５回目の全国行きを決めた。

初戦のFC岐阜ベルタに勝利して決勝に進んだ藤枝順心は、名古屋ＦＣレディースと対戦。終始ボールを支配し、前半10分と後半９分に榎谷岬がヘディングで決めて２点をリード。終盤に１点を返されるがそのまま逃げ切った。

試合結果

〈１回戦〉
名古屋ＦＣレディース　５―２　三重高校

〈決勝・第１代表決定戦〉
藤枝順心高校　３―０　FC岐阜ベルタ

〈第２代表決定戦〉
静岡産業大学磐田ボニータ　１―０　名古屋ＦＣレディース

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部クラブユース技術委員長
瀧　利明

～ 中西部クラブユースU-15の新たなトレセン活動 ～

静岡県クラブユースサッカー連盟（U―15）中西部支部は昨年度よりクラブチームのトレセン活動を開始しました。現在、中西部地区には８チームのクラブが活動しています。本年度は榛南FCが日本クラブユース選手権で、Ｈｅｒｏ　ＦＣがフットサル大会で東海大会に出場し、新興チームの躍進が目立ちました。

日本代表のキャプテンの長谷部選手は本当に中西部地区の誇りです。本田圭佑選手、長友選手も中学年代ではそれほど目立った選手ではないと聞きましたが、その後の努力で活躍し世界へ羽ばたいたのです。

現在は指導者のレベルが向上した反面、選手はマニュアル化していないでしょうか。パスのトレーニングは豊富にありますが、試合になれば相手の隙をつく、逆をつく、タイミングを外す等、工夫しなければなりません。つまり、個人戦術が必要なのです。中学年代では技術は基より、判断力・認識力を向上させ、センスある選手を育てなければならないと感じています。そして何よりも自分自身を向上させるための強いメンタルを持った選手が、高校、大学、社会人、そしてプロで活動できると考えます。

中西部クラブユース（Ｕ―15）チームの基本は各チームで選手育成を重点に置き、中西部クラブトレセンから県トレセンへ、そして将来は代表に選ばれる選手の発掘、育成を目的に新たな活動に挑戦し始めました。

中西部
ヤングサッカーニュース
2011 12
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第35回全国地域サッカーリーグ決勝大会
shizuoka.藤枝MYFC JFL昇格へ



shizuoka.藤枝MYFCが日本フットボールリーグ（JFL）昇格へ前進した。

JFL昇格をかけて争う全国地域サッカーリーグ決勝大会に、東海リーグを制して臨んだ藤枝MYFC。11月18日から20日まで行われた1次ラウンドは、3戦ともに接戦を制して勝ち上がった。初戦のバンディオンセ加古川には、後半33分に先制されるも、ロスタイムに2点を奪っての逆転劇。2戦目は横浜スポーツ&カルチャークラブ（Y.S.C.C.）に、後半に1点ずつを取り合って突入したPK戦に勝って勝点2をゲット。JAPANサッカーカレッジとの3試合目は、終盤の43分に1点を奪って振り切った。

決勝ラウンドに進んでも粘り強く戦い、勝点を積み上げた。SC相模原との初戦は幾度かピンチを招くものの、後半29分に奈良林寛紀のクロスを清水健普が頭で押し込み決勝点を奪った。続くHOYO AC ELAN大分戦はゴールを奪えず、PK戦も敗れはしたが勝点1を獲得。1次ラウンドでも対戦したY.S.C.C.との最終戦は、前半4分に石田祐樹がDFと競った浮き球をアランがボレーで鮮やかにミドルシュートを決めて先制。だが18分に同点とされ、試合はそのままPK戦へ突入。1人ずつが失敗して迎えた8人目をGK豊瀬充大が止め、その豊瀬が自らキッカーとなり決めて決着。勝点を6に伸ばして、勝点7のY.S.C.C.に続く2位が決定し、JFA昇格権を獲得した。

計画的なフィジカルトレーニングで、最後まで走り切れる力を蓄え、それが試合でも発揮された藤枝MYFCの戦い。12月16日に開かれるJFAの理事会の承認を経て昇格が正式に決定する。



藤枝MYFC 代表 小山 淳

お陰様で、JFLに昇格することができました。多くのご支援・ご声援、この場を借りさせて頂き、お礼申し上げます。

この地域にJリーグクラブをつくり、そしてこの地域をサッカー、スポーツを通じて日本の一大会地・合宿地にするという構想を持って掲げたプロジェクト、「サッカーの街からアジアのサッカーシティへ」が始まり2年半が経ちました。まず、地域・子どもたちの夢と希望となるシンボルとしてのトップチームをつくる（そこに紳士（真摯）―しんし―たれという行動規範は必然であり、普遍です）。そしてその過程で地域の人々の心をつなぎ、インフラを整備し、世界中からこの地域に毎日サッカー・スポーツをする人々が大量にくる、という未来づくり。そんなビジョンの実現にほんの一歩だけ進めることができました。

ゼロからものごとを起こすこと、何かを改革していくことは苦しみの連続です。しかし挑戦しなくては何もはじまらない。私はこの地域の人々、環境、歴史のお陰で今があります。まさに支援者・環境、地域・歴史・仲間たちに私は生かされているのです。一分一秒たりとも感謝を忘れず生きていく。さあ、次の一歩は「Jリーグクラブを誕生させることです。

1次ラウンド試合結果

Aグループ	JSC	横浜	加古川	藤枝	勝点	順位
JAPAN サッカーカレッジ		●2-5	○2-0	●0-1	3	3
横浜スポーツ&カルチャークラブ	○5-2		○2-0	▲1-1 (3PK4)	7	2
バンディオンセ加古川	●0-2	●0-2		●1-2	0	4
shizuoka. 藤枝MYFC	○1-0	△1-1 (4PK3)	○2-1		8	1

決勝ラウンド試合結果

チーム名	藤枝	相模原	大分	横浜	勝点	順位
shizuoka. 藤枝MYFC		○1-0	▲0-0 (6PK7)	△1-1 (7PK6)	6	2
SC相模原	●0-1		●1-2	●1-2	0	4
HOYO AC ELAN大分	△0-0 (7PK6)	○2-1		●0-4	5	3
横浜スポーツ&カルチャークラブ	▲1-1 (6PK7)	○2-1	○4-0		7	1

※勝点：勝ち＝3、PK勝ち＝2、PK負け＝1、負け＝0

藤枝順心高校 目指せ全国制覇!!



JOCジュニアオリンピックカップ 第15回全日本女子ユース（U−18）サッカー選手権大会

全日本女子ユース（U−18）サッカー選手権大会は、来年1月3日から千葉県で開催される。全国9地域の代表13チームに、夏の全日本高校女子選手権の優勝・準優勝チームと、開催地の千葉県代表を合わせた16チームが参加。4組に分かれての1次ラウンド、リーグ戦が5日までの3日間で行われ、各組の1位4チームが7日の準決勝に進み、8日に決勝が行われる。前回準優勝の藤枝順心高校は、今大会初の全国優勝を目指す。

※東海大会の結果は2面に掲載

決勝ラウンド組み合わせ

1/7(土)　1/8(日)

A1位
B1位　10:00
10:00　13:00
C1位
D1位　13:00

＜会場＞千葉県市原市
市原緑地運動公園臨海競技場

1次ラウンドDグループ 藤枝順心高校の試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/3(火)	14:00	湘南学院高校	姉崎
1/4(水)	14:00	日ノ本学園高校	姉崎
1/5(木)	11:00	松山東雲高校	スA

＜会場＞千葉県市原市
姉崎：姉崎公園姉崎サッカー場
スA：市原スポレクパークA面

新たな挑戦

島田第一中学校サッカー部
顧問
佐々木　千尋

～情　熱～

私は教師となり、初めてサッカーと出会った。任された島田第一中学校サッカー部顧問という立場を、気の引き締まる想いで勤めさせて頂いている。

中学校の部活はたった3年間しかないが、小学校からの基礎を引き継ぎ、高校へとつなぐ大切な時期である。つまり、私は選手の将来を大きく左右する大切な3年間を任されていると言うことだ。指導者は常に選手のために何ができるかを考えて行動しなくてはならない。当然、未経験者だから教える自信がないという言い訳はなしだ。

今の私には特別な練習や高度な戦術を教えることはできないだろう。ならば、私が選手にしてやれることは何か。それは情熱をもって日々の活動に取り組むことだと思う。未経験者は固定観念がない分、どん欲にサッカーを勉強できるという強みをもっている。自分次第で大きく成長することが出来るのだ。私は選手と共に本気でサッカーに向き合い、共に成長していきたい。そして、選手と共に島田一中のサッカーを創っていきたい。それは大変なことだが、本当に楽しい時間だ。

この2年間で中体連志太榛原大会優勝をはじめ、様々な経験をさせて頂いた。その活動を振り返ると、選手をはじめ、少年団、トレセン、保護者、他チームの指導者など、多くの熱い想いが島田一中の力となっていることを実感する。チームを率いる指導者として、私も熱い情熱をもって選手を導いていきたい。

第17回全日本ユース（U−15）フットサル大会
Hero FC JユースAが初出場 全国優勝目指す



1月7日から9日までの3日間、岐阜メモリアルセンターで開催される全日本ユース（U−15）フットサル大会に、Hero FC Jrユース Aが初出場する。全国9地域の代表15チームに開催地岐阜県の代表1チームの計16チームが参加。4組に分かれて1次ラウンドのリーグ戦を行い、各組の1位4チームが準決勝に進む。Hero FCには優勝を目指して頑張ってほしい。

※東海大会の結果は2面に掲載

決勝ラウンド組み合わせ

1/9(祝)

A1位
B1位　A11:00
未13:30
C1位
D1位　B11:00

1次ラウンド グループD Hero FCの試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/7(土)	17:00	あわら市芦原中学校	C
1/8(日)	12:10	アンフィニマキ.FC	C
	16:30	ラッセル郡山FC	A

＜会場＞岐阜メモリアルセンター ピッチA・B・C